

## 資料

**Appendix 1** リボンの構成

**Appendix 2** 用語集

資料として、リボンの構成と用語集を付けました。  
必要に応じてご利用ください。

# リボンの構成

Access 2007以降では、従来のメニューに代わって、リボンと呼ばれるインターフェイスを主に使います。資料として、リボンに含まれるコマンドを一覧にしました。

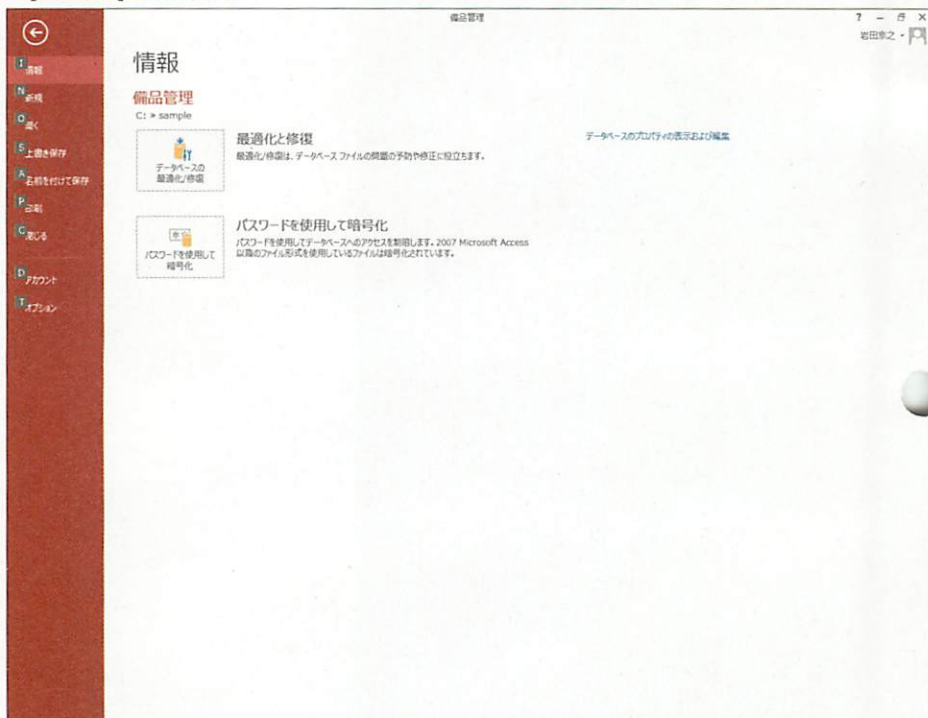
## app.1.1 共通のコマンドタブ

以下のコマンドタブは、テーブルやフォームなど、すべてのオブジェクトに共通です。

キー	コマンドタブ
F	ファイル
H	ホーム
C	作成
X	外部データ
Y	データベースツール

### ● 1.1.1 ファイル

#### ▼ [ファイル] コマンドタブ



コマンド		サブコマンド	
I	情報	G	情報
		C	データベースの最適化/修復
		E	パスワードを使用して暗号化
		V	データベースのプロパティの表示および編集
N	新規	S	検索後の入力
		G	検索の開始
		U	検索の候補
		F	おすすめのテンプレート
		E	個人用
		W	カスタム Web アプリ
		L	空のデスクトップデータベース
O	開く	R	最近使用したファイル*
		K	SkyDrive
		C	コンピューター
		A	場所の追加
S	上書き保存		
A	名前を付けて保存	D	データベースに名前を付けて保存
		O	オブジェクトに名前を付けて保存
		Q	Access データベース
		L	Access 2002-2003 データベース
		N	Access 2000 データベース
		T	テンプレート
		P	パッケージ化と署名
		E	ACCDE の作成
		B	データベースのバックアップ
		M	Sharepoint
		A	名前を付けて保存
P	印刷	Q	クイック印刷
		P	印刷
		V	印刷プレビュー
C	閉じる		
D	アカウント		
T	オプション		

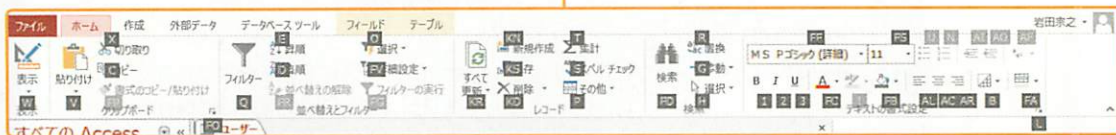
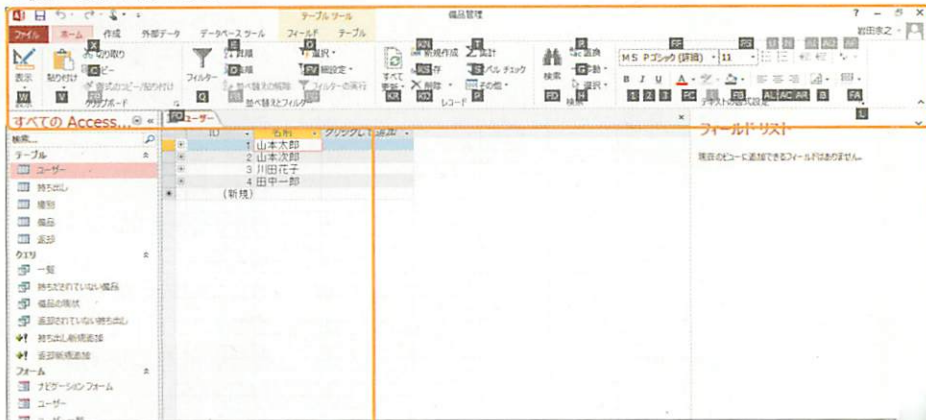
## ▼開くサブコマンド

コマンド		サブコマンド	
R	最近使用したファイル*	1~9	最近使用したデータベース
		Y1~Y9	ピンで留める
		Q	最近使用したデータベースの一覧に表示する
		N	数の指定

※開く⇒最近使用したファイルのサブコマンド一覧

## ● 1.1.2 ホーム

## ▼ [ホーム] コマンドタブ

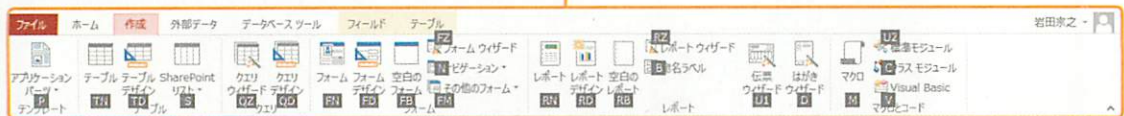
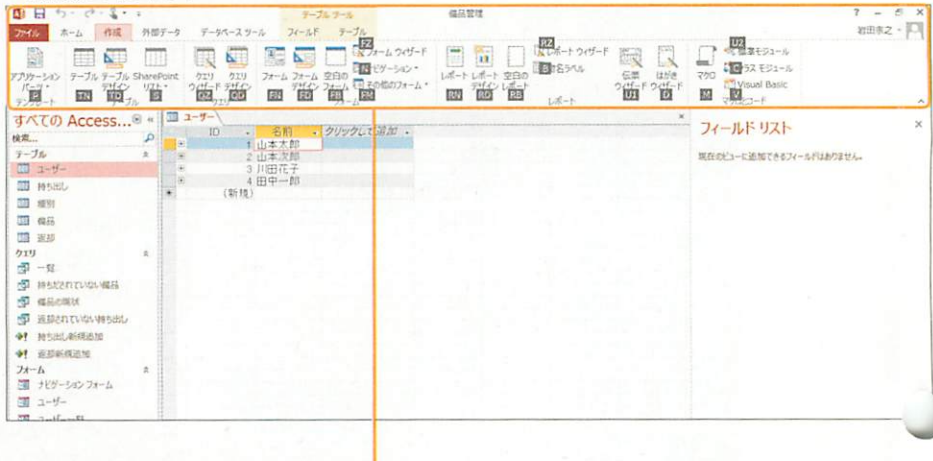


グループ	コマンド	サブコマンド		
表示	W	ビューの切り替え	(ビューのリスト)	
	V	貼り付け	P	貼り付け
			S	形式を選択して貼り付け
			N	追加貼り付け
	X	切り取り		
	C	コピー		
	FP	書式のコピー/貼り付け		
FO	(クリップボードの設定)			
並べ替えと フィルター	Q	フィルター		
	E	昇順		
	D	降順		
	FR	並べ替えの解除		
	O	選択	(列のデータ型によって異なる)	
	FV	詳細設定	C	すべてのフィルターのクリア
			F	フォームフィルター
			Y	フィルター/並べ替えの実行
S			フィルター/並べ替えの編集	
Q			クエリから読み込み	
A	クエリとして保存			
L	タブの削除			
G	グリッドのクリア			
C	閉じる			
レコード	KR	すべて更新	A	すべて更新
			E	更新
			Y	同期

グループ	コマンド		サブコマンド	
レコード	KN	新規作成		
	KS	保存		
	KD	削除	D	削除
			R	レコードの削除
			M	列の削除
	T	集計		
	S	スペルチェック		
	P	その他	O	Outlookから追加
			S	Outlookの連絡先として保存
			H	行の高さ
			T	サブデータシート
			F	フィールドの非表示
			U	フィールドの再表示
			Z	フィールドの固定
A			すべてのフィールドの固定解除	
F	フィールド幅			
検索	FD	検索		
	R	置換		
	G	移動	F	先頭
			P	前へ
			N	次へ
			L	最後
			W	新規作成
	H	選択	L	選択
A			すべて選択	
テキストの 書式設定	FF	フォント		
	FS	フォントサイズ		
	U	箇条書き		
	N	段落番号		
	1	太字		
	2	斜体		
	3	下線		
	AI	リストのレベルを下げる		
	AO	リストのレベルを上げる		
	AF	文字列の方向	L	左から右
			R	右から左
	FA	代替の行の色		
	FC	フォントの色		
	I	蛍光ペンの色		
	FB	背景色		
	AL	文字列を左に揃える		
	AC	中央揃え		
AR	文字列を右に揃える			
B	枠線			
L	(データシートの書式設定)			

## ● 1.1.3 作成

## ▼ [作成] コマンドタブ

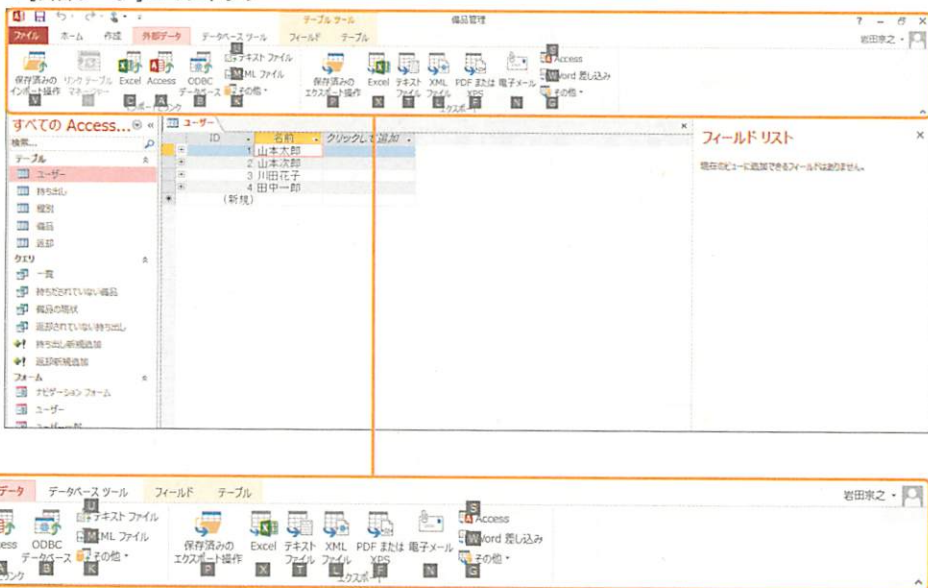


グループ	コマンド	サブコマンド	
テンプレート	P アプリケーションパーツ		
テーブル	TN テーブル		
	TD テーブルデザイン		
	S SharePointリスト	C 連絡先	
		T タスク	
		I 案件	
		E イベント	
U カスタム			
X 既存のSharePointリスト			
クエリ	QZ クエリウィザード		
	QD クエリデザイン		
フォーム	FN フォーム		
	FD フォームデザイン		
	FB 空白のフォーム		
	FZ フォームウィザード		
	N ナビゲーション	H 水平タブ	
		V 垂直タブ(左)	
		G 垂直タブ(右)	
E 水平タブ(2レベル)			
L 水平タブと垂直タブ(左)			
R 水平タブと垂直タブ(右)			
FM その他のフォーム	U 複数のアイテム		
	A データシート		
	P 分割フォーム		
	M モーダルダイアログボックス		

グループ	コマンド	サブコマンド
レポート	RN	レポート
	RD	レポートデザイン
	RB	空白のレポート
	RZ	レポートウィザード
	U1	伝票ウィザード
	B	宛名ラベル
マクロ	D	はがきウィザード
	M	マクロ
	U2	モジュール
	C	クラスモジュール
	V	Visual Basic

### ● 1.1.4 外部データ

#### ▼ [外部データ] コマンドタブ

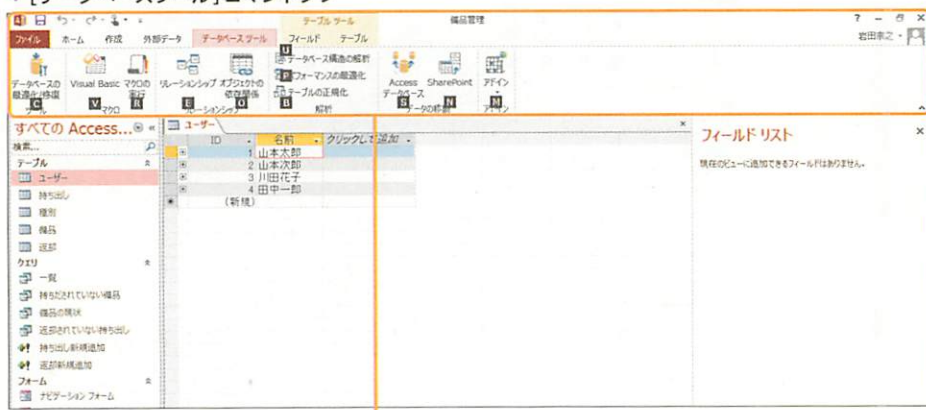


グループ	コマンド	サブコマンド
インポートとリンク	V	保存済みのインポート操作
	H	リンクテーブルマネージャー
	C	Excel
	A	Access
	B	ODBCデータベース
	U	テキストファイル
	M	XMLファイル
	K	その他
	S	SharePoint リスト
	T	データサービス
	H	HTML ドキュメント
	O	Outlook フォルダー

グループ	コマンド		サブコマンド	
エクスポート	P	保存済みのエクスポート操作		
	X	Excel		
	T	テキストファイル		
	L	XMLファイル		
	F	PDFまたはXPS		
	N	電子メール		
	S	Access		
	W	Word差し込み		
G	その他			
			W	Word
			S	SharePointリスト
			C	ODBCデータベース
			H	HTMLドキュメント

### ● 1.1.5 データベースツール

#### ▼ [データベースツール]コマンドタブ



グループ	コマンド		サブコマンド	
ツール	C	データベースの最適化/修復		
マクロ	V	Visual Basic		
	R	マクロの実行		
リレーションシップ	E	リレーションシップ		
	O	オブジェクトの依存関係		
解析	U	データベース構造の解析		
	P	パフォーマンスの最適化		
	B	テーブルの正規化		
データの移動	S	Accessデータベース		
	N	SharePoint		
アドイン	M	アドイン		



## app.1.2

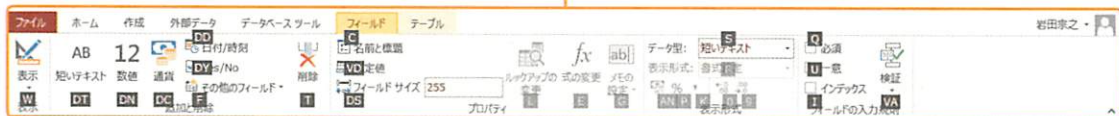
## テーブルデータシートのコマンドタブ

テーブルのデータシートビューでは、共通のコマンドタブに対して、以下のコマンドタブが追加されます。

キー	コマンドタブ
JB	フィールド
JT	テーブル

## ● 1.2.1 フィールドコマンドタブ

## ▼ [フィールド] コマンドタブ

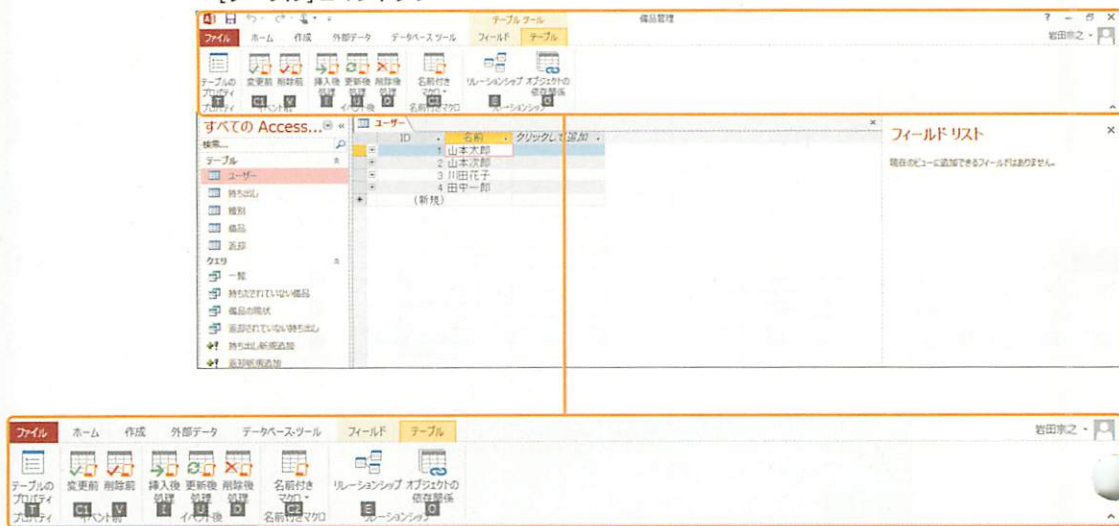


グループ	コマンド	サブコマンド
表示	W 表示	
追加と削除	DT テキスト	
	DN 数値	
	DC 通貨	
	DD 日付/時刻	
	DY Yes/No	
	F その他のフィールド	
	T 削除	
プロパティ	C 名前と表題	
	VD 既定値	
	DS フィールドサイズ	
	L ルックアップの変更	
	E 式の変更	
	G メモの設定	A 追加のみ R リッチテキスト

グループ	コマンド	サブコマンド
表示形式	S データ型	
	R 表示形式	
	AN 通貨の形式を適用	
	P パーセンテージ形式を適用	
	K 桁区切り形式を適用	
	O 小数点以下の表示桁数を増やす	
	9 小数点以下の表示桁数を減らす	
フィールドの入力規則	Q 必須	
	U 一意	
	I インデックス	
	VA 検証	F フィールドの入力規則 V フィールドの検証メッセージ R レコードの入力規則 M レコードの入力規則メッセージ

### ● 1.2.2 テーブルコマンドタブ

#### ▼ [テーブル] コマンドタブ



グループ	コマンド	サブコマンド	
プロパティ	T テーブルのプロパティ		
イベント前	C1 変更前		
	V 削除前		
イベント後	I 挿入後処理		
	U 更新後処理		
	D 削除後処理		
名前付きマクロ	C2 名前付きマクロ	C 名前付きマクロの作成 E 名前付きマクロの編集 D マクロの名前変更/削除	
	リレーションシップ	E リレーションシップ	
		O オブジェクトの依存関係	

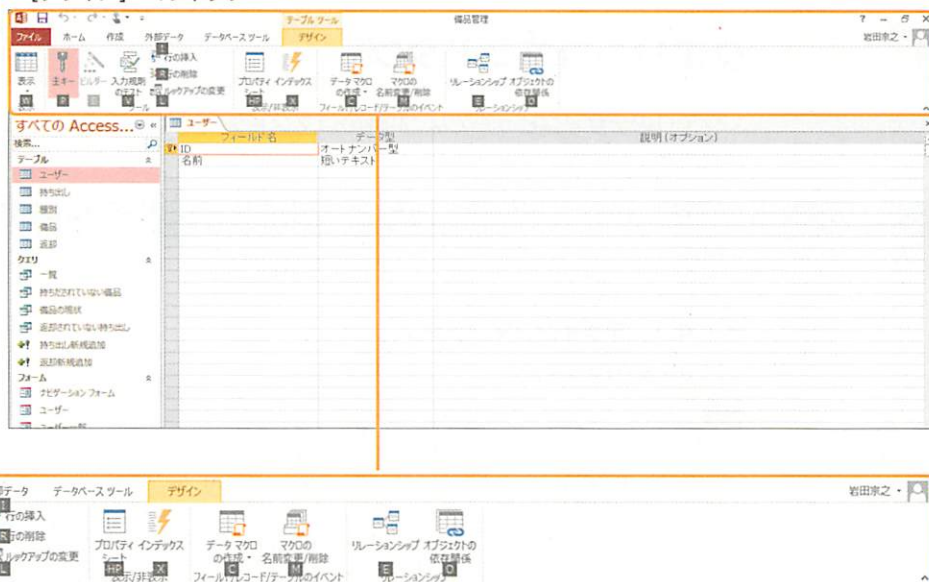
## app.1.3 テーブルデザインのコマンドタブ

テーブルのデザインビューでは、共通のコマンドタブに対して、以下のコマンドタブが追加されます。

キー	コマンドタブ
JD	デザイン

### ● 1.3.1 デザイン


#### ▼ [デザイン]コマンドタブ



グループ	コマンド	サブコマンド
表示	W 表示	
ツール	P 主キー	
	B ビルダー	
	V 入力規則のテスト	
	I 行の挿入	
	R 行の削除	
	L ルックアップの変更	
表示/非表示	HP プロパティシート	
	X インデックス	
フィールド/ レコード/ テーブルの イベント	C データマクロの作成	I 挿入後処理
		U 更新後処理
		D 削除後処理
		B 削除前
		C 変更前
	C 名前付きマクロの作成	
E 名前付きマクロの編集		
M	マクロの名前変更/削除	

グループ	コマンド		サブコマンド
リレーションシップ	E	リレーションシップ	
	O	オブジェクトの依存関係	

**Onepoint**


 国キー（右側の **Alt** キーと **Ctrl** キーの間にあるキー）を押すと、現在選択している項目についての右クリックメニューが表示されます。この動作は、**[Shift] + [F10]** キーでも同じです。

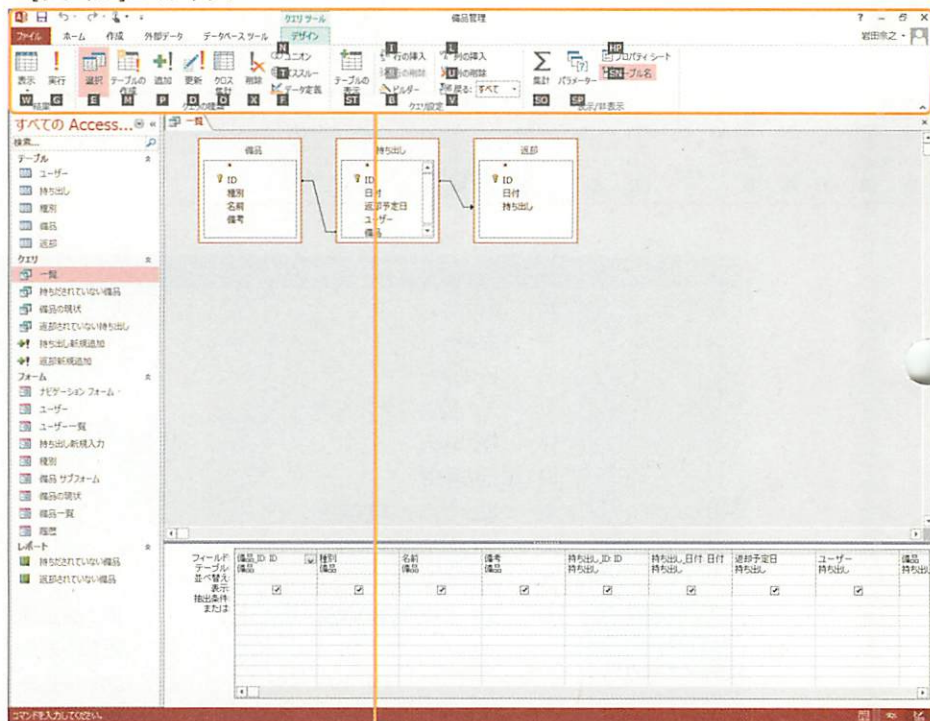
## app.1.4 クエリのコマンドタブ

クエリのデザインビューでは、共通のコマンドタブに対して、以下のコマンドタブが追加されます。

キー	コマンドタブ
JQ	デザイン

### ● 1.4.1 デザインコマンドタブ

#### ▼ [デザイン] コマンドタブ



グループ	コマンド		サブコマンド
結果	W	表示	
	G	実行	
クエリの種類	E	選択	
	M	テーブルの作成	
	P	追加	
	D	更新	
	O	クロス集計	
	X	削除	
	N	ユニオン	
	T	パススルー	
クエリ設定	F	データ定義	
	ST	テーブルの表示	
	I	行の挿入	
	R	行の削除	
	B	ビルダー	
	L	列の挿入	
	U	列の削除	
表示/非表示	V	戻る	
	SO	集計	
	SP	パラメーター	
	HP	プロパティシート	
	SN	テーブル名	



### Memo リボン内でのフォーカスの移動

[Alt] キーを押してコマンドタブにキーの表示が出ている状態で、**⌂** キーあるいは **⌂** キーを使って、コマンドタブを切り替えることができます。

また、**⌂** キーを押すとフォーカスがコマンドタブの中に移り、**⌂** キーと **⌂** キーで、コマンドタブの中のそれぞれのコマンドを順に選択できるようになります。

目的のコマンドを選択して [Enter] キーを押すと、そのコマンドが実行されます。

ただし、フォント名などの文字を入力するコマンドでは、**⌂** キーと **⌂** キーは別の意味になってしまいます。このときは、**⌂** キーを押すと次のコマンドへ移ります。

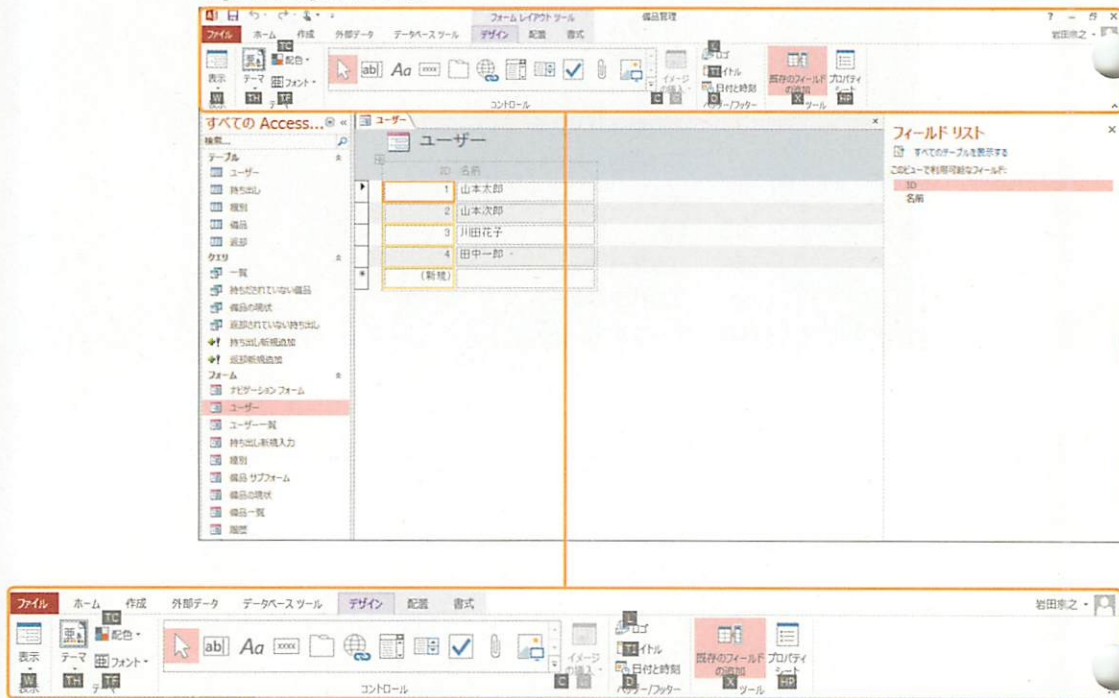
## app.1.5 フォームレイアウトのコマンドタブ

フォームのレイアウトビューでは、共通のコマンドタブに対して、以下のコマンドタブが追加されます。

キー	コマンドタブ
JD	デザイン
JA	配置
JF	書式

### ● 1.5.1 デザインコマンドタブ

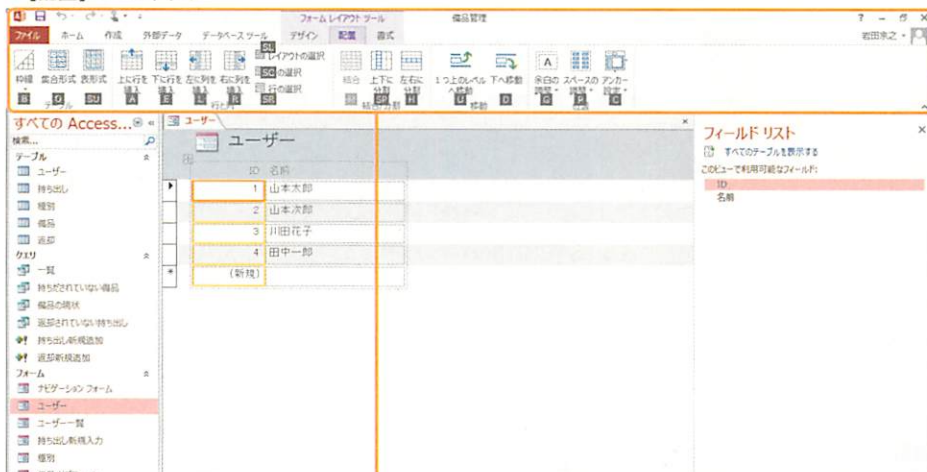
#### ▼ [デザイン]コマンドタブ



グループ	コマンド	サブコマンド
表示	W 表示	
テーマ	TH テーマ	
	TC 配色	
	TF フォント	
コントロール	C コントロール	
	G イメージの挿入	
ヘッダー/ フッター	L ロゴ	
	TI タイトル	
	D 日付と時刻	
ツール	X 既存のフィールドの追加	
	HP プロパティシート	

## ● 1.5.2 配置コマンドタブ

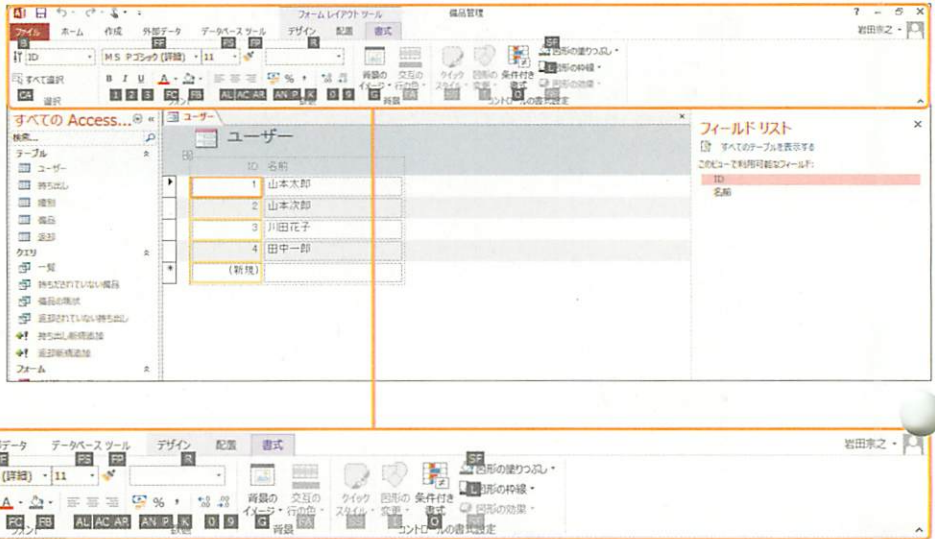
### ▼ [配置] コマンドタブ



グループ	コマンド	サブコマンド
テーブル	B 枠線	
	O 集合形式	
	SU 表形式	
行と列	A 上に行を挿入	
	E 下に行を挿入	
	L 左に行を挿入	
	R 右に行を挿入	
	SL レイアウトの選択	
	SC 列の選択	
結合/分割	SR 行の選択	
	M 結合	
	SP 上下に分離	
移動	H 左右に分離	
	U 1つ上のレベルへ移動	
位置	D 下へ移動	
	G 余白の調整	N なし
		A 狭い
		M 普通
		W 広い
	P スペースの調整	N なし
		A 狭い
	M 普通	
	W 広い	
	C アンカー設定	

## ● 1.5.3 書式コマンドタブ

## ▼ [書式] コマンドタブ



グループ	コマンド	サブコマンド
選択	B オブジェクト	
	CA すべて選択	
フォント	FF フォント	
	FS フォントサイズ	
	FP 書式のコピー/貼り付け	
	1 太字	
	2 斜体	
	3 下線	
	FC フォントの色	
	FB 背景色	
	AL 左揃え	
	AC 中央揃え	
数値	AR 右揃え	
	R 表示形式	
	AN 通貨の形式を適用	
	P パーセンテージ形式を適用	
	K 桁区切り形式を適用	
背景	O 小数点以下の表示桁数を増やす	
	9 小数点以下の表示桁数を減らす	
コントロール の書式設定	G 背景のイメージ	
	FA 交互の行の色	
	SS クイックスタイル	
	I 図形の変更	
	O 条件付き書式	
	SF 図形の塗りつぶし	
	L 図形の枠線	
SE 図形の効果		



## app.1.6

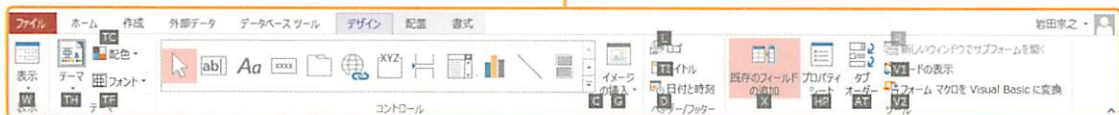
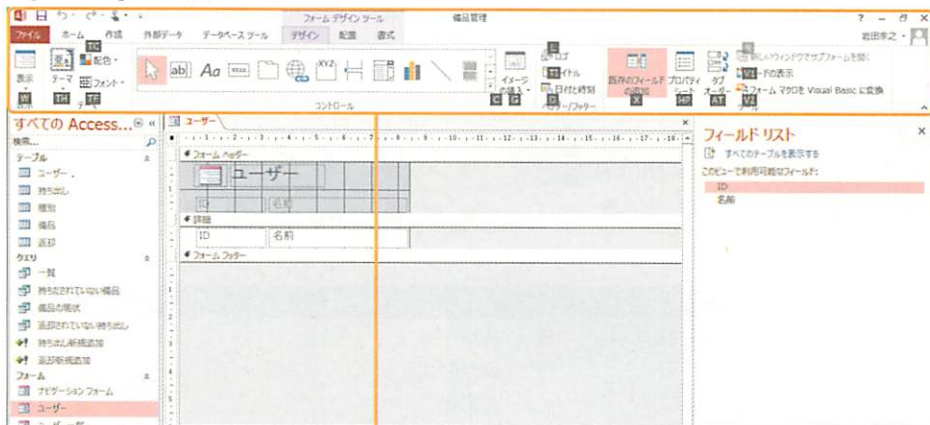
## フォームデザインのコマンドタブ

フォームのデザインビューでは、共通のコマンドタブに対して、以下のコマンドタブが追加されます。

キー	コマンドタブ
JD	デザイン
JA	配置
JF	書式

## ● 1.6.1 デザインコマンドタブ

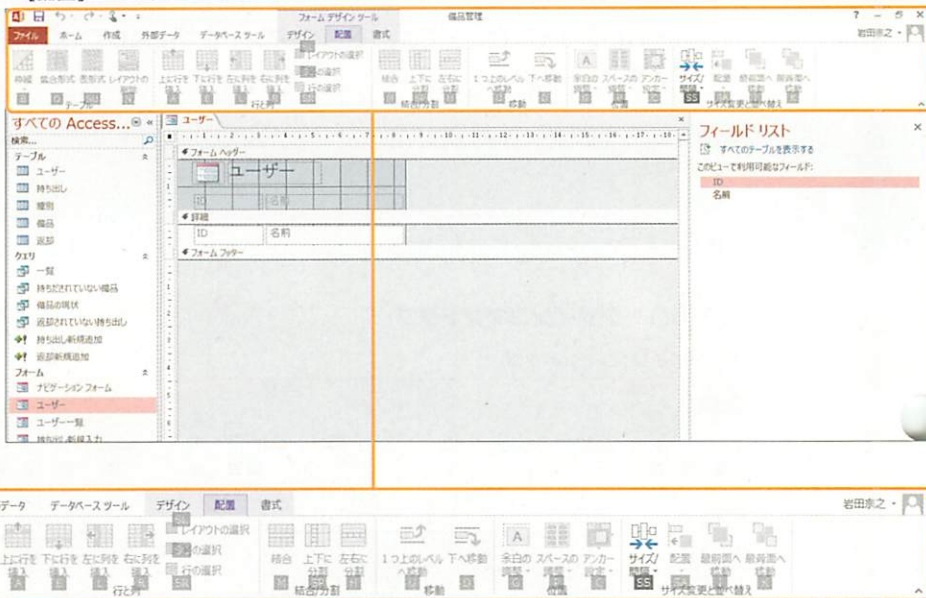
## ▼ [デザイン]コマンドタブ



グループ	コマンド	サブコマンド
表示	W 表示	
テーマ	TH テーマ	
	TC 配色	
	TF フォント	
コントロール	C コントロール	
	G イメージの挿入	
ヘッダー/ フッター	L ロゴ	
	TI タイトル	
	D 日付と時刻	
ツール	X 既存のフィールドの追加	
	HP プロパティシート	
	AT タブオーダー	
	R 新しいウィンドウでサブフォームを開く	
	V1 コードの表示	
	V2 フォームマクロを Visual Basic へ変換	

## ● 1.6.2 配置コマンドタブ

## ▼ [配置] コマンドタブ

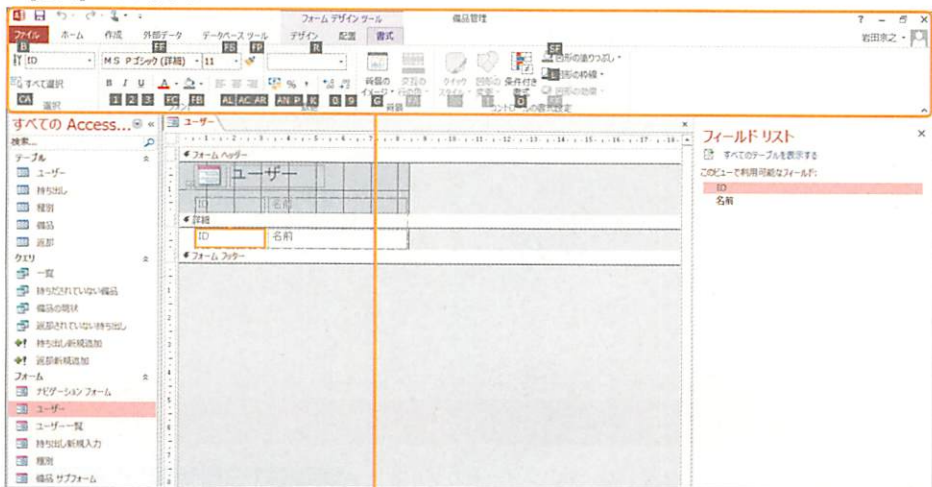


グループ	コマンド	サブコマンド		
テーブル	B 枠線			
	O 集合形式			
	SU 表形式			
	N レイアウトの削除			
行と列	A 上に行を挿入			
	E 下に行を挿入			
	L 左に行を挿入			
	R 右に行を挿入			
	SL レイアウトの選択			
	SC 列の選択			
結合/分割	M 結合			
	SP 上下に分離			
	H 左右に分離			
	移動	U 1つ上のレベルへ移動		
位置	D 下へ移動			
	G 余白の調整	N なし		
		A 狭い		
		M 普通		
		W 広い		
		P スペースの調整	N なし	
			A 狭い	
M 普通				
W 広い				
C アンカー設定				

グループ	コマンド		サブコマンド				
サイズ変更 と並べ替え	SS	サイズ/間隔	F	自動調整			
			T	高いコントロールに合わせる			
			S	低いコントロールに合わせる			
			O	グリッドに合わせる			
			W	広いコントロールに合わせる			
			N	狭いコントロールに合わせる			
			Q	左右の間隔を均等にする			
			I	左右の間隔を広くする			
			D	左右の間隔を狭くする			
			E	上下の間隔を均等にする			
			V	上下の間隔を広くする			
			C	上下の間隔を狭くする			
			R	グリッド			
			L	ルーラー			
			N	スナップをグリッドに合わせる			
			G	グループ化			
			U	グループ解除			
			I	SA	配置	G	グリッド
						L	左揃え
						R	右揃え
T	上揃え						
I	SA	配置	B	下揃え			
			K	最前面へ移動			
I	SA	配置	K	最背面へ移動			

### ● 1.6.3 書式コマンドタブ

#### ▼ [書式] コマンドタブ



グループ	コマンド	サブコマンド
テーブル	B オブジェクト	
	CA すべて選択	
フォント	FF フォント	
	FS フォントサイズ	
	FP 書式のコピー/貼り付け	
	1 太字	
	2 斜体	
	3 下線	
	FC フォントの色	
	FB 背景色	
	AL 左揃え	
	AC 中央揃え	
数値	AR 右揃え	
	R 表示形式	
	AN 通貨の形式を適用	
	P パーセンテージ形式を適用	
	K 桁区切り形式を適用	
	O 小数点以下の表示桁数を増やす	
背景	9 小数点以下の表示桁数を減らす	
	G 背景のイメージ	
コントロール の書式設定	FA 交互の行の色	
	SS クイックスタイル	
	I 図形の変更	
	O 条件付き書式	
	SF 図形の塗りつぶし	
	L 図形の枠線	
	SE 図形の効果	

## Onepoint



多くのアプリケーションでは、アンドゥ操作（直前のコマンドを元に戻す操作）に **Ctrl** + **Z** キーが割り当てられています。Access でも同じですが、Access ではデータ入力時にいったん確定してしまったデータの追加や変更は元に戻せないので注意してください。



## Memo プロパティシート関連のショートカットキー

プロパティシートを使うときには、次のショートカットキーを使うことができます。

キー	動作
<b>F4</b>	プロパティシートの表示/非表示
<b>Tab</b>	一つ下のプロパティに移動する
<b>Ctrl</b> + <b>Tab</b>	タブを一つ前に切り替える
<b>Ctrl</b> + <b>Shift</b> + <b>Tab</b>	タブを一つ後ろに切り替える

## app.1.7

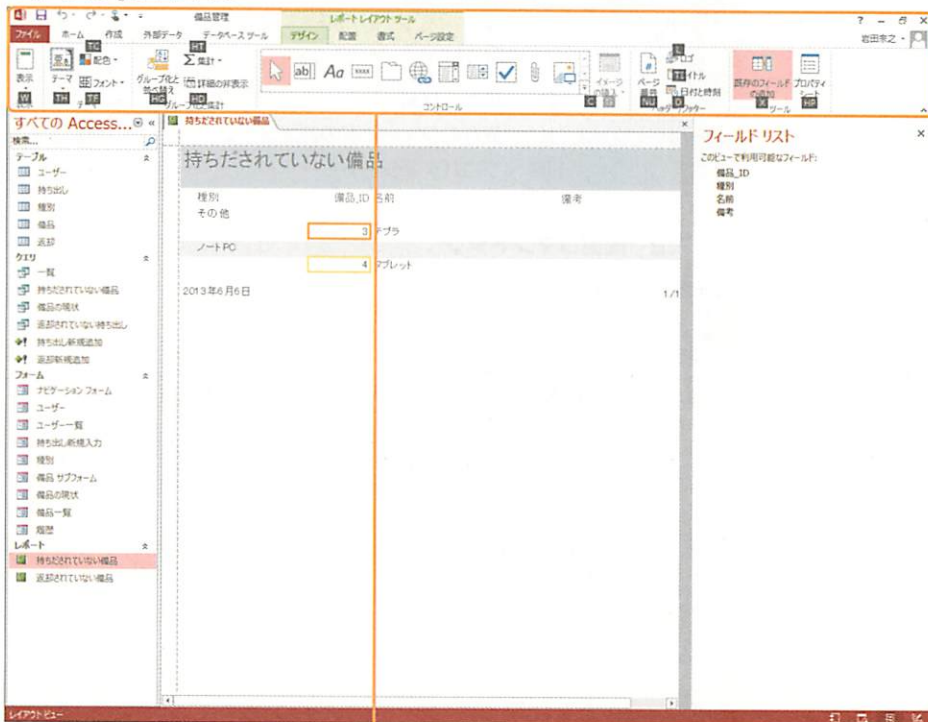
## レポートレイアウトのコマンドタブ

レポートのレイアウトビューでは、共通のコマンドタブに対して、以下のコマンドタブが追加されます。

キー	コマンドタブ
JD	デザイン
JA	配置
JF	書式
JP	ページ設定

## ● 1.7.1 デザインコマンドタブ

## ▼ [デザイン] コマンドタブ

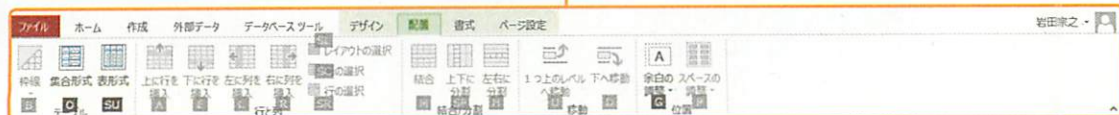
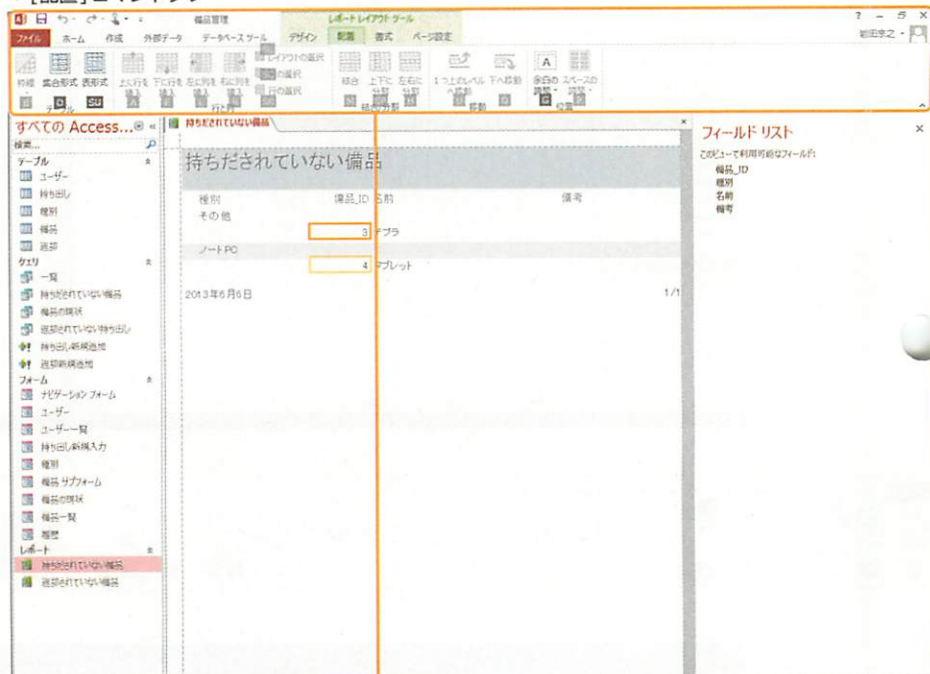


グループ	コマンド	サブコマンド
表示	W 表示	
テーマ	TH テーマ	
	TC 配色	
	TF フォント	

グループ	コマンド		サブコマンド	
グループ化と 集計	HG	グループ化と並べ替え		
	HT	集計	S	合計
			A	平均
			R	レコードのカウント
			V	値のカウント
			M	最大値
			I	最小値
コントロール	HD	詳細の非表示	T	標準偏差
	C	コントロール	V	分散
	G	イメージの挿入		
ヘッダー/ フッター	NU	ページ番号		
	L	ロゴ		
	TI	タイトル		
	D	日付と時刻		
ツール	X	既存のフィールドの追加		
	HP	プロパティシート		

## ● 1.7.2 配置コマンドタブ

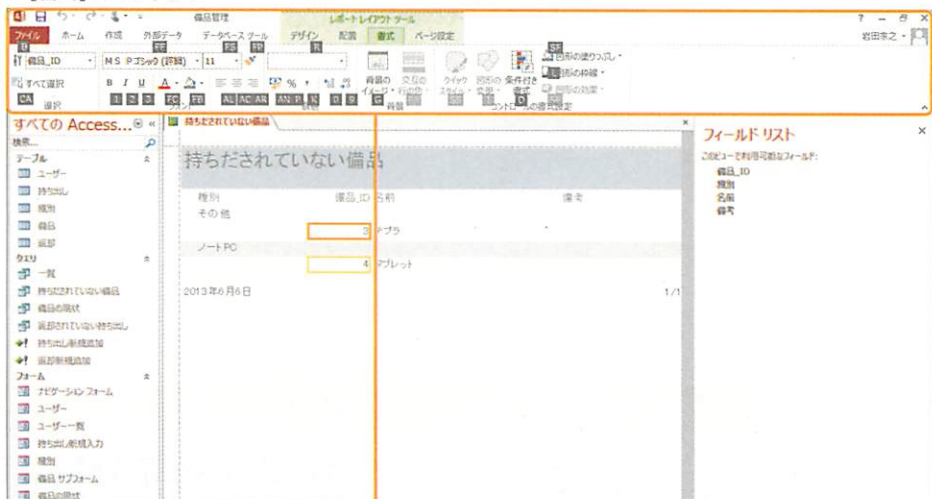
### ▼ [配置] コマンドタブ



グループ	コマンド	サブコマンド
テーブル	B 枠線	
	O 集合形式	
	SU 表形式	
行と列	A 上に行を挿入	
	E 下に行を挿入	
	L 左に行を挿入	
	R 右に行を挿入	
	SL レイアウトの選択	
	SC 列の選択	
	SR 行の選択	
結合/分割	M 結合	
	SP 上下に分離	
	H 左右に分離	
移動	U 1つ上のレベルへ移動	
	D 下へ移動	
位置	G 余白の調整	N なし
		A 狭い
		M 普通
		W 広い
	P スペースの調整	N なし
		A 狭い
		M 普通
		W 広い

### ● 1.7.3 書式コマンドタブ

#### ▼ [書式]コマンドタブ



グループ	コマンド	サブコマンド
選択	B オブジェクト	
	CA すべて選択	
フォント	FF フォント	
	FS フォントサイズ	
	FP 書式のコピー/貼り付け	
	1 太字	
	2 斜体	
	3 下線	
	FC フォントの色	
	FB 背景色	
	AL 左揃え	
	AC 中央揃え	
数値	AR 右揃え	
	R 表示形式	
	AN 通貨の形式を適用	
	P パーセンテージ形式を適用	
	K 桁区切り形式を適用	
背景	O 小数点以下の表示桁数を増やす	
	9 小数点以下の表示桁数を減らす	
	G 背景のイメージ	
	FA 交互の行の色	
コントロール の書式設定	SS クイックスタイル	
	I 図形の変更	
	O 条件付き書式	
	SF 図形の塗りつぶし	
	L 図形の枠線	
	SE 図形の効果	



### Memo ウィンドウに関するショートカットキー

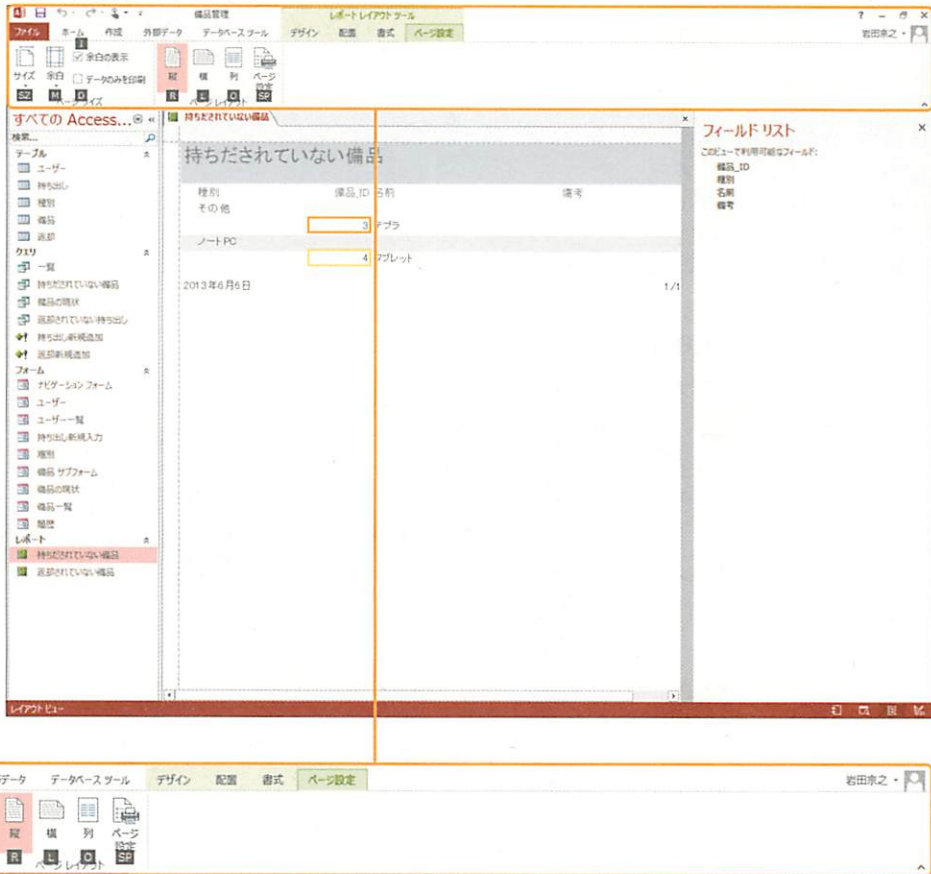
Accessの画面に表示される各ウィンドウを操作するショートカットキーには、次のものがあります。

キー	動作
<b>F11</b>	ナビゲーションウィンドウの表示/非表示
<b>Ctrl</b> + <b>F4</b>	ウィンドウを閉じる
<b>Ctrl</b> + <b>F6</b>	ドキュメントタブを切り替える
<b>Ctrl</b> + <b>.</b> (ピリオド)	ビューを切り替える
<b>Ctrl</b> + <b>,</b> (カンマ)	ビューを逆方向に切り替える



## ● 1.7.4 ページ設定コマンドタブ

### ▼ [ページ設定] コマンドタブ



グループ	コマンド		サブコマンド
ページサイズ	SZ	サイズ	
	M	余白	標準 広い 狭い
	I	余白の表示	
	D	データのみを印刷	
ページレイアウト	R	縦	
	L	横	
	O	列	
	SP	ページ設定	

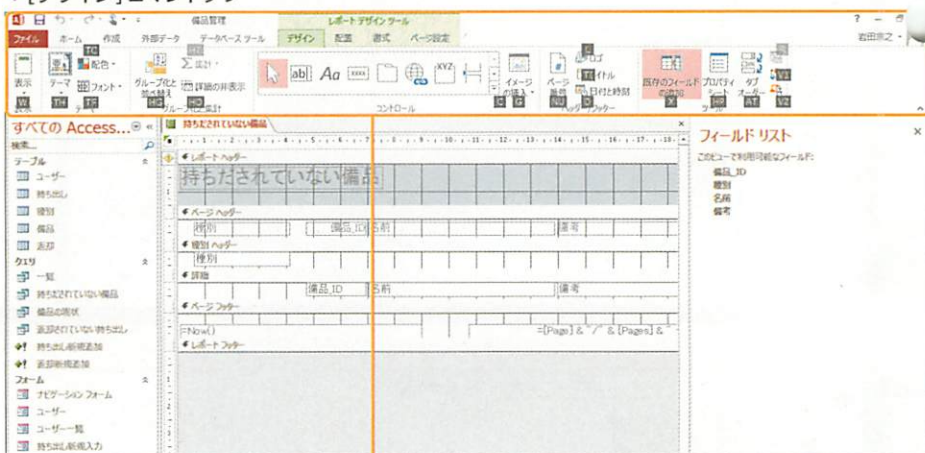
## app.1.8 レポートデザインのコマンドタブ

レポートのデザインビューでは、共通のコマンドタブに対して、以下のコマンドタブが追加されます。

キー	コマンドタブ
JD	デザイン
JA	配置
JF	書式
JP	ページ設定

### ● 1.8.1 デザインコマンドタブ

#### ▼ [デザイン] コマンドタブ

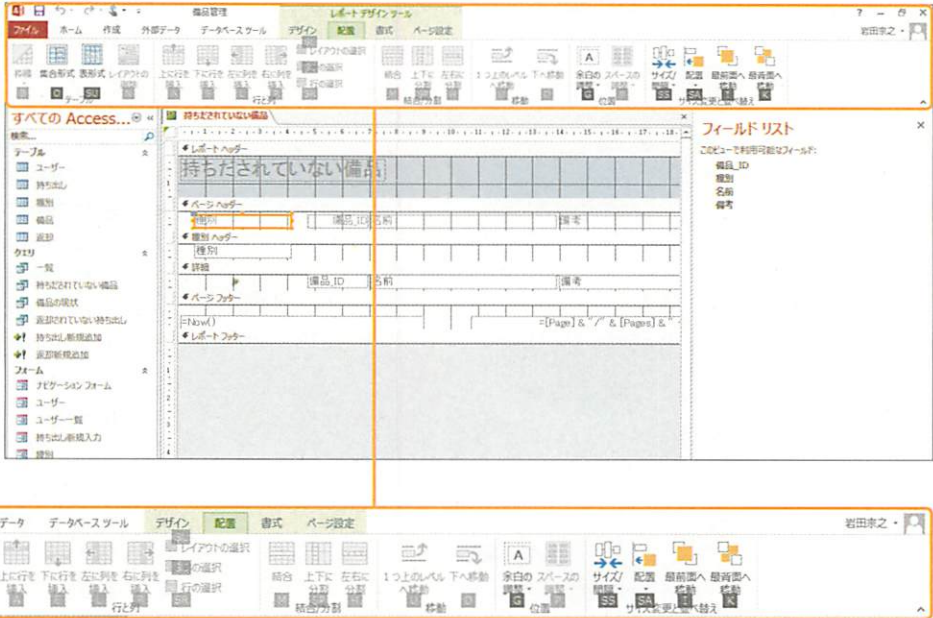


グループ	コマンド	サブコマンド
表示	W	表示
テーマ	TH	テーマ
	TC	配色
	TF	フォント
グループ化と集計	HG	グループ化と並べ替え
	HT	集計
	HD	詳細の非表示
コントロール	C	コントロール
	G	イメージの挿入
ヘッダー/フッター	NU	ページ番号
	L	ロゴ
	TI	タイトル
	D	日付と時刻

グループ	コマンド	サブコマンド
ツール	X	既存のフィールドの追加
	HP	プロパティシート
	AT	タブオーダー
	R	新しいウィンドウでサブフォームを開く
	V1	コードの表示
	V2	フォームマクロを Visual Basicへ変換

## ● 1.8.2 配置コマンドタブ

### ▼ [配置] コマンドタブ



グループ	コマンド	サブコマンド
テーブル	B	枠線
	O	集合形式
	SU	表形式
	N	レイアウトの削除
行と列	A	上に行を挿入
	E	下に行を挿入
	L	左に行を挿入
	R	右に行を挿入
	SL	レイアウトの選択
	SC	列の選択
	SR	行の選択
	結合/分割	M
SP		上下に分離
H		左右に分離
移動	U	1つ上のレベルへ移動
	D	下へ移動

グループ	コマンド		サブコマンド		
位置	G	余白の調整	N	なし	
			A	狭い	
			M	普通	
			W	広い	
	P	スペースの調整	N	なし	
			A	狭い	
			M	普通	
			W	広い	
サイズ変更と 並べ替え	SS	サイズ/間隔	F	自動調整	
			T	高いコントロールに合わせる	
			S	低いコントロールに合わせる	
			O	グリッドに合わせる	
			W	広いコントロールに合わせる	
			N	狭いコントロールに合わせる	
			Q	左右の間隔を均等にする	
			I	左右の間隔を広くする	
			D	左右の間隔を狭くする	
			E	上下の間隔を均等にする	
			V	上下の間隔を広くする	
			C	上下の間隔を狭くする	
			R	グリッド	
			L	ルーラー	
			N	スナップをグリッドに合わせる	
			G	グループ化	
			U	グループ解除	
			SA	配置	G
	L	左揃え			
	R	右揃え			
	T	上揃え			
	I	最前面へ移動	K	最背面へ移動	B



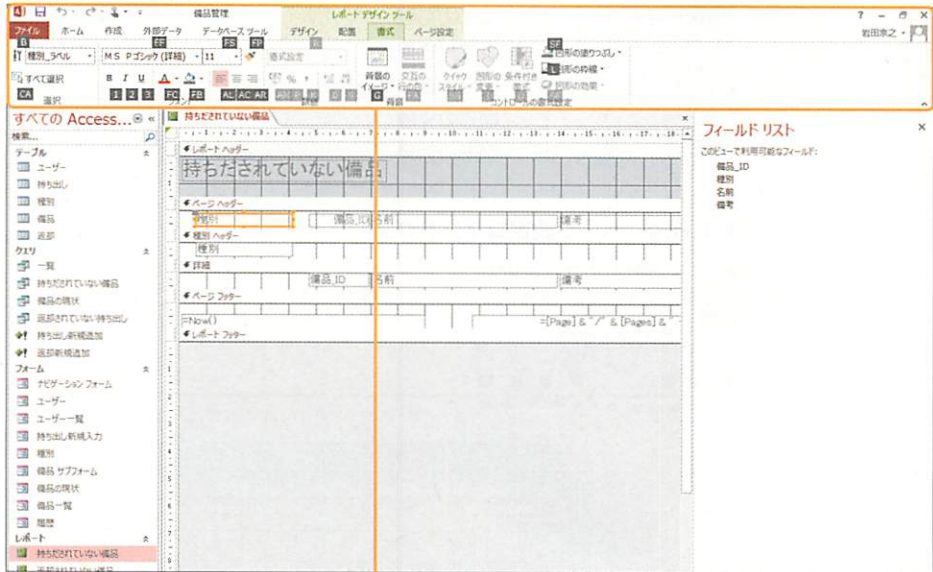
### Memo データ入力時のショートカットキー

データシートビューなどでデータを入力するとき、次のショートカットキーが使えます。

キー	動作
<b>Ctrl</b> + <b>;</b> (セミコロン)	現在の日付を挿入する
<b>Ctrl</b> + <b>:</b> (コロン)	現在の時刻を挿入する
<b>Ctrl</b> + <b>[Alt]</b> + <b>Space</b>	フィールドの既定値に変更する
<b>Ctrl</b> + <b>↑</b>	一つ上のフィールドと同じ値に変更する
<b>Ctrl</b> + <b>[Shift]</b> + <b>;</b> (セミコロン)	新規レコードに移動する
<b>Ctrl</b> + <b>↓</b> (マイナス)	カレントレコードを削除する

### ● 1.8.3 書式コマンドタブ

#### ▼ [書式] コマンドタブ

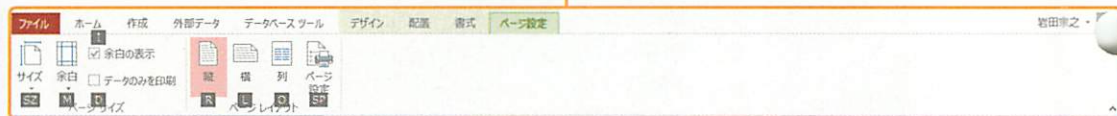
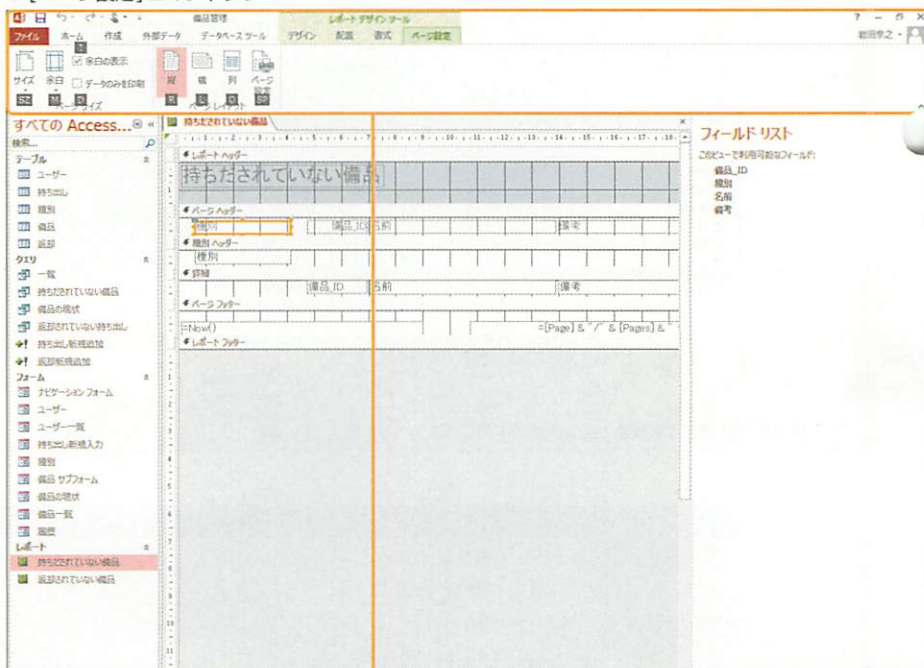


グループ	コマンド	サブコマンド
ページサイズ	B	オブジェクト
	CA	すべて選択
フォント	FF	フォント
	FS	フォントサイズ
	FP	書式のコピー/貼り付け
	1	太字
	2	斜体
	3	下線
	FC	フォントの色
	FB	背景色
	AL	左揃え
	AC	中央揃え
	AR	右揃え
数値	R	表示形式
	AN	通貨の形式を適用
	P	パーセンテージ形式を適用
	K	桁区切り形式を適用
	O	小数点以下の表示桁数を増やす
9	小数点以下の表示桁数を減らす	
背景	G	背景のイメージ
	FA	交互の行の色

グループ	コマンド	サブコマンド	
コントロール の書式設定	SS	クイックスタイル	
	I	図形の変更	
	O	条件付き書式	
	SF	図形の塗りつぶし	
	L	図形の枠線	
	SE	図形の効果	

### ● 1.8.4 ページ設定コマンドタブ

#### ▼ [ページ設定] コマンドタブ



グループ	コマンド	サブコマンド	
ページサイズ	SZ	サイズ	
	M	余白	
	I	余白の表示	標準 広い 狭い
	D	データのみを印刷	
ページ レイアウト	R	縦	
	L	横	
	O	列	
	SP	ページ設定	

## app.1.9

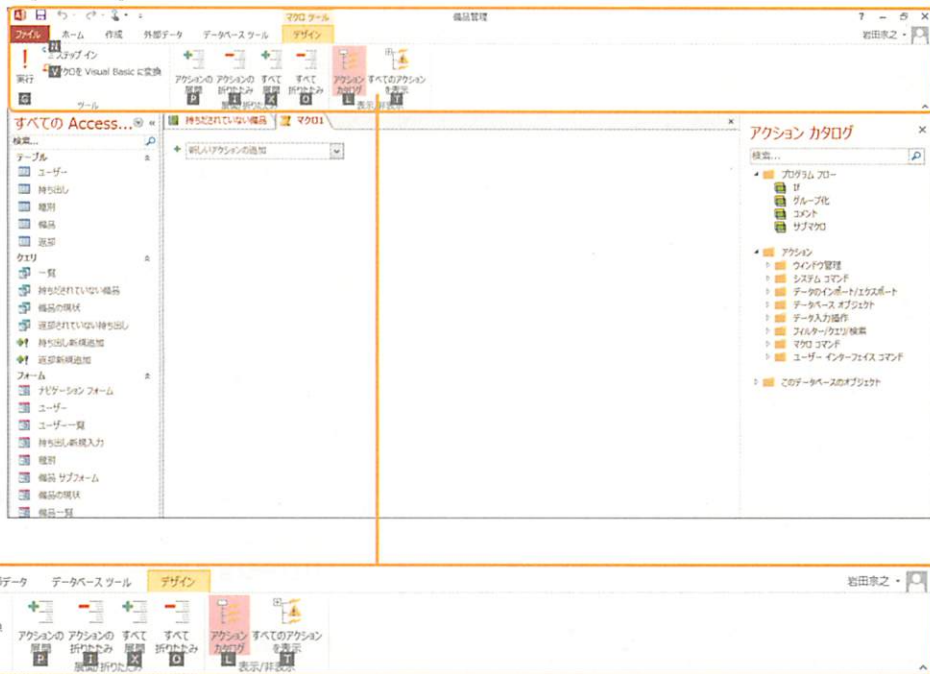
## マクロのコマンドタブ

マクロ画面では、共通のコマンドタブに対して、以下のコマンドタブが追加されます。

キー	コマンドタブ
JM	デザイン

## ● 1.9.1 デザインコマンドタブ

## ▼ [デザイン] コマンドタブ



グループ	コマンド	サブコマンド
ツール	G 実行	
	N ステップイン	
	V マクロを Visual Basic に変換	
展開/ 折りたたみ	P アクションの展開	
	I アクションの折りたたみ	
	X すべて展開	
	O すべて折りたたみ	
表示/非表示	L アクションカタログ	
	T すべてのアクションを表示	

## Onepoint



ファイルメニューや右クリックメニューでは、項目名の後ろに文字がカッコ書きされているコマンドがあります。こうしたコマンドは、メニューが開いているときにその文字に対応するキーを押すことで実行できます。

## あ行

## ■アクションクエリ

データを追加・削除したり、内容を更新したりといった、データベースの中のデータを書き換えるクエリのこと。

## →クエリ

## ■アップデート

アプリケーションの発売後に不具合が見つかった場合、それを後で修正すること。あるいはそのためのプログラム。

最近ではアプリケーションが大規模化し、発売前に、すべての不具合を見付け出すことがほとんど不可能な状況です。そのため、アップデートの頻度が年々増大しています。

## →Microsoft Update

## ■アンカー

フォームやレポートにおいて、コントロールの配置を指定する方法の1つ。フォームやレポートなどの大きさが変わった場合、コントロールを左（あるいは上）側に配置するのか、右（あるいは下）側に配置するのかを指定します。もともとの英単語は、船の錨という意味です。

## ■一意

同じ値が重なっていないこと。「テーブルに対して一意」というように、範囲を区切って言うこともあります。この場合は、同じテーブルの範囲内ではすべて違った値になっているが、違うテーブルには同じ値があってもかまいません。

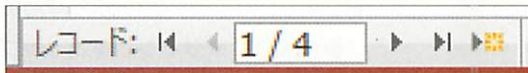
## →主キー、識別子、名前

## ■移動ボタン

フォームやデータシートで下側に表示される、カレントレコードを移動させるためのボタンです。

## →カレントレコード

## ▼移動ボタン



## ■印刷プレビュー

紙に印刷した場合の見え方を、実際に印刷する前に画面で確認すること。Accessでは、通常の画面表示と印刷プレビューでは、表示のされ方に若干の違いがあります。紙資源の節約のためにも、積極的に活用するようにしたいものです。

## ■インデックス

テーブルに対して、あらかじめ指定した条件で並べ替えをした目次を作っておくことで、レコードの検索や並べ替えを高速化する仕組み。本の最後についている索引を思い浮かべるとよいでしょう。

リレーショナルデータベースでは、レコードの検索動作の頻度が高いため、インデックスの付け方によって処理速度が何千倍にもなることがあります。

## →リレーショナルデータベース、主キー

## ■インポート

テーブルなどのデータを外部から移し入れること。主に、他アプリケーションで作成した大量のデータを一括して自動的に入力することをいいます。

## →エクスポート

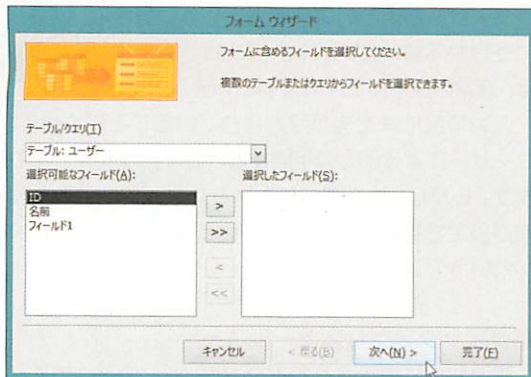
## ■ウィザード

ダイアログで指示されたとおりに入力をしていくことで、目的とするコマンドを実行する仕組み。多くの場合、ダイアログの下部に戻る、次へボタンがあり、入力を間違えた場合にも戻れるようになっています。

一度に多量の入力項目が画面に表示される通常のダイアログに比べて、初心者でも入力しやすい傾向にあります。また、必要のないページを飛ばしたり、別の入力項目を要求したりといった制御がしやすいという利点もあります。



## ▼ウィザード



## ■埋め込みオブジェクト

## →OLE

## ■エクスポート

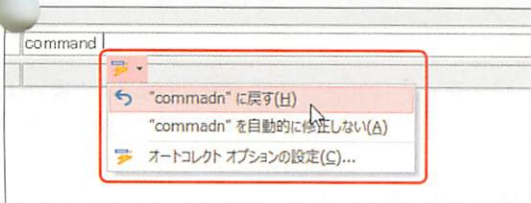
内部のデータをファイルに出力すること。これによって、データを他のアプリケーションで利用できるようになります。Accessでは、エクスポートの際にファイルの形式を指定することで、様々なアプリケーションに対応したデータをエクスポートできます。

## →インポート

## ■オートコレクト

ユーザーがテキスト入力を行う際、入力の間違いを自動的に修正する機能。英単語のスペルミスや、日本語表記の揺れを自動的に検出し、修正候補を表示します。

## →IME



## ■オートナンバー

テーブルのそれぞれのレコードに対して、順番に番号を割り振る機能。これによって、レコードを番号で識別することができ、レコードの検索やテーブル間の関連付けが容易になります。

オートナンバーは行番号とは違って、レコードの削除があった場合には番号が飛んでしまうことになります。

## →主キー、リレーション

## ■オートフォーマット

フォームやレポートのフォントや色調などを、あらかじめ用意されたパターンに従って変更する機能。これを使うと、フォームやレポート画面の見た目に統一感を出すことができます。

## ■オフィススイート

オフィスでよく使われるソフトウェアを一通り揃えたパッケージ。スイートという単語には、「一揃い」とか「一組」という意味があります。Microsoft Officeでは、ワードプロセッサであるWordや表計算ソフトであるExcelなど、複数のソフトが集められて1つのパッケージとして売られています。

Accessは比較的使い方が難しく、オフィスで必須のアプリケーションというわけでもないので、すべてのOfficeに含まれているわけではありません。Office Professionalにのみ含まれています。

## ■オブジェクト

直訳すると「もの」。アプリケーションあるいはデータベースを構成する様々な要素を総称していいいます。

## ■オプション画面

アプリケーションの細かい動作を変更するための画面。ほとんどの場合において変更の必要がありませんが、特定の場合において変更する必要が生じることがある設定項目が並んでいます。

## →カスタマイズ

## ■オプショングループ

フォームにおいて、いくつかのラジオボタンをまとめてグループ化したもの。グループに含まれるいくつかのラジオボタンの中で、どれか1つだけを選択することができます。

選択肢が決まっていて、あまり数が多くない場合によく使われます。

## →ラジオボタン



## ■オンラインテンプレート

オンラインで提供されるテンプレート。様々なテンプレートが提供され、しかも、時間が経つにつれ追加されていきます。

→ テンプレート、Office Online

## か行

### ■カスタマイズ

アプリケーションの動作を、自分が使いやすいように変更すること。通常、アプリケーションは万人向けに設定されているため、個人の特殊な状況下ではかえって使いにくいこともあります。そういう場合に、個人に特有な問題を解決するために設定を変更します。

→ オプション画面、既定値

### ■カテゴリ

ナビゲーションウィンドウの表示において、分類方法を示します。カテゴリを変更することで、違った分類方法で表示をグループ化することができます。

→ ナビゲーションウィンドウ

### ■カラム

→ フィールド

### ■空文字列

文字数が0の文字列。入力欄に何も入力されていない状態ですが、「値が入力されていない」ということを示すヌル値とは違います。扱いが難しいため、ヌル値と空文字列を両方同時に扱うようにしない方がよいでしょう。

→ ヌル値、文字列

### ■カレントレコード

データシートやフォームにおいて、現在編集中のレコードを指します。データの変更は主にカレントレコードに対して行われるため、カレントレコードの設定や移動は重要な意味を持ちます。

→ 移動ボタン、レコードセレクト

### ■関連付け

→ リレーションシップ

### ■既定値

ユーザーが明示的に値を指定しない場合に、代わりに使われる値。デフォルト値ともいいます。既定値には、通常の使用時によく使われる値が設定されます。

入力項目に既定値が設定されていることによって、ユーザーによる入力の手間が省けるという利点があります。しかし、ユーザーが入力をしなくても自動的に値が設定されてしまうため、入力忘れに気が付きにくいという欠点もあります。

### ■クイックアクセスツールバー

画面左上に表示されるボタン群。常に表示されていて、コマンドを1クリックで起動することができます。

クイックアクセスツールバーには、よく使うコマンドをユーザーが登録することができます。



### ■クイック起動バー

Windows Vista以前のタスクバーにある、アプリケーションのアイコンが並んだバー。アプリケーションを1クリックで起動することができます。アプリケーションのインストール時に自動的に登録されることもありますが、アプリケーションを選んで登録することもできます。Windows7以降ではタスクバーと統合されました。



### ■クエリ

日本語では「問い合わせ」と訳されます。広義ではデータベースに送られる命令全般を指しますが、データベース上のデータを取得するための命令に限って使われることも多いです。

→ アクションクエリ、SQL

### ■クエリウィザード

対話形式でクエリを作成することができるウィザード。比較的高度な知識が必要なクエリの設計を、質問に答えるだけで簡単に作成することができます。

クエリウィザードで作れるクエリの種類はあまり多くないので、クエリウィザードでクエリを作成したあ

と、自分の欲しい機能を実現するために変更を加えることが必要になることもあります。

### ■クエリパラメータ

クエリ中で使用する値を、クエリ実行時に後から指定することができるようにする仕組み。クエリパラメータを使わない場合、例えば「10以下」「20以下」というような具体的な数値を入れたクエリをその都度作らなくてはなりませんが、クエリパラメータを使うと、「〇〇以下」というように数値の部分を指定しないままクエリを作成し、実行時にその値を指定することができます。

### ■クラウド

自分が使っているPCで処理を実行するのではなく、インターネット上のサーバーでデータの保存や処理を行うサービスのこと。処理の実体がインターネット上のサーバーにあるため、インターネットに接続できさえすれば、PCや携帯電話、タブレット端末など機種を問わず同じようにサービスを利用できます。

### ■グリッド

フォームやレポートのデザインビューにおいて、位置合わせの目安として入れられている縦横のマス目。

### ■グループ化(クエリ)

クエリにおいて、ある列の値を使って複数のレコードを集計すること。

→集計関数

### ■グループ化(コントロール)

フォームやレポートの設計において、複数のコントロールをひとまとめにして扱う機能。複数のコントロールを一緒に移動させたり、プロパティを同時に変更したりするのに役立ちます。

### ■グループフッター

グループ化されたレポートにおいて、それぞれのグループの終わりに挿入される部分。通常、グループごとの小計などが表示されます。

→グループヘッダー、フッター

### ■グループヘッダー

グループ化されたレポートにおいて、それぞれのグループの最初に挿入される部分。項目の列見出しなどが配置されることが多い。

→グループフッター、ヘッダー

### ■グローバル意識別子

→GUID

### ■クロス集計

通常のテーブルやクエリでは、列の数や見出しは固定です。それに対して、データの集計値を列に配置するクエリを特にクロス集計クエリといいます。多くの場合、行と列それぞれで集計を使って、集計値を表形式で表示する。

例えば、商品の種類を縦軸、年月を横軸にとって、月ごと、商品の種類ごとの集計結果をそれぞれのセルに表示します。

### ■結合

リレーションを使って2つのテーブルを結び付ける際、対応のないレコードをどう処理するかを示します。内部結合、右結合、左結合、全結合の4種類があります。

→リレーション

### ■更新クエリ

テーブルデータを更新するためのアクションクエリ。クエリを使ってデータを更新する場合は、抽出条件を指定して、条件に合うレコードを一括して更新することになります。

→アクションクエリ

### ■コマンド

アプリケーションを操作するための命令。リボンや右クリックメニュー、クイックアクセスツールバーなどに並べられています。

### ■コマンドグループ

コマンドを種類ごとに分類したものです。リボンには複数のコマンドグループが並べられていて、目的のコマンドを探しやすくしています。

→リボン

## ■コマンドタブ

リボンを持つ複数のページを切り替える役割を持つタブ。リボンの上部にあり、目的に応じてページを切り替え、必要とするコマンドグループを表示する役割を受け持ちます。

### ➔リボン、コマンドグループ

## ■コメント

自分で設計したオブジェクトに対して付ける説明文。Accessでは、データベースやテーブルの列などに対して「説明」という入力項目があります。

大規模なデータベースを設計する場合には、たとえ自分で作ったオブジェクトであっても、それが何だったかを完全に把握することは容易ではありません。そのため、コメントをきちんと書くことはとても重要です。

## ■コントロール

フォームやレポートにおいて、データを表示したり、ユーザーからの入力を受け入れたりする役割を持つオブジェクト。コントロールを組み合わせることで、フォームやレポートの機能を発揮します。

## ■コントロールパネル

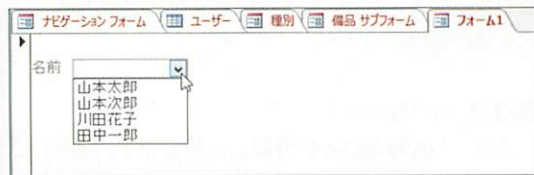
Windowsの各種設定をするためのウィンドウ。Windowsの設定のいくつかはAccessにも影響を与えるため、Accessの画面上でまったく同じように設定しても、PCによって動作が異なることがあります。

### ➔ロケール

## ■コンボボックス

キーボードからの入力と、リストからの選択を同時に受け付けるコントロール。テキストボックスとリストボックスの特徴を両方とも持っています。

### ➔ドロップダウン



## さ行

## ■サービスパック

製品が発売された後に見付かった不具合を修正するための修正プログラムをまとめたもの。セキュリティに関する重大な不具合が見付かった場合はその都度アップデートプログラムが提供されますが、あまり重要ではない不具合はサービスパックという名前でまとめて修正されることが多いです。

同じAccess 2013であっても、サービスパックを適用しているものとそうでないもので、動作に違いが生じることもあります。特に、サービスパック適用後のAccess 2013で開発したデータベースを、サービスパックを適用していないPCで実行すると不具合が生じる可能性があります。使用するすべてのPCにおいて、最新のサービスパックをインストールするようにしましょう。

### ➔Microsoft Update、アップデート

## ■削除クエリ

データベース上のレコードを削除するためのクエリ。指定した条件に合致するレコードを一括で削除します。

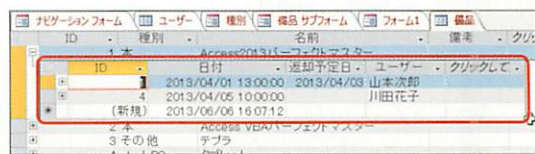
### ➔アクションクエリ

## ■差し込み印刷

文書の一部を指定したデータで置き換えながら次々に印刷するMicrosoft Wordの機能。はがきの宛名書きやタックシールの印刷などに用います。AccessのデータをWordに渡して差し込み印刷をすることもできます。

## ■サブデータシート

データシートの表示において、ある行の下に関連する別テーブルのデータを表示する機能。



## ■サブフォーム

フォームの中に、別のフォームを表示させる機能。2つのフォームを関連付けすることで、片方のフォームに表示されているレコードの関連情報を別のフォームで表示させることができます。

## ■サブレポート

レポートの中に別のレポートを表示させる機能。通常、レポートでは1つのテーブルあるいはクエリの結果しか表示できませんが、レポートの中にサブレポートを埋め込むことによって、関連性はあるがまったく違う形式のデータを表示させることができます。

## ■参照整合性

テーブル間にリレーションを設定した場合、一方のテーブルでフィールドの値が変更されても、テーブル間の関係が維持されるようにするための規則。

## ■サンドボックス

Access データベース外部の環境にアクセスすることができないモードのこと。日本語訳すると「砂場」であり、子供が安全に遊べる砂場の比喩です。

Accessでは、Visual Basic for Application を使って自由にカスタマイズが可能ですが、このことを利用すると、フォームを開いたときに特定のファイルを削除するといったような、悪意のあるコードを埋め込むことが可能となります。それを防ぐために、Accessでファイルを開いた直後は、Visual Basic for Applicationによるコードが実行されないようになっています。

### →信頼できる場所

## ■識別子

同種のものの中から、特定のものを見付けるために使われるもの。主に名前や番号が使われます。例えば、複数のテーブルの中から1つのテーブルを特定するために、テーブルに名前を付けて区別します。

### →主キー

## ■集計関数

クエリで、データの集計をするのに使用できる関数のこと。合計や最大、最小などの種類があります。

## ■主キー

テーブルで、それぞれのレコードを区別するために使用されるインデックス。主キーはテーブルに1つだけあり、Accessが内部的にレコードの区別するのに使用されます。

### →インデックス

## ■条件付き書式

表示するデータの条件によって、書式を変えること。条件式と書式はユーザーが設定できます。例えば、負の値は赤く表示する、といったことができます。

### →書式

## ■ショートカットキー

メニューやリボン上のコマンドをマウスでクリックして実行する代わりに、キーボードから入力して実行できるようにする仕組み。ほとんどのコマンドを数回のキー入力で行うことができるため、効率が良い。

## ■書式

文字などを表示に際して、フォントや色といった表示の方法を指定するもの。

### →表示形式

## ■信頼できる場所

ウイルスなど、実行すると問題のあるファイルが入っていないことが保証できるフォルダ。このフォルダの中に入っている実行形式ファイルや、ファイル中のマクロは、無条件に実行されます。

信頼できる場所として指定したフォルダには、インターネット上でダウンロードしたファイルや、他人から受け取ったファイルは、ウイルスなどが混じっていないことが確認されるまでは入れないようにします。

### →サンドボックス

## ■スクリプト

操作を定義して、自動的に実行できるようにした簡易プログラム。従来は、機能の少ない簡素なプログラミング言語で、数行から数十行程度で書ける簡単なプログラムのことを指していましたが、最近ではスクリプトも大規模化し、本格的なプログラミング言語との境が明確でなくなってきました。

### →Visual Basic、マクロ

## ■スタート画面

Windowsの8の起動時に最初に表示され、PCにインストールされているアプリケーションを呼び出す役割をするもの。従来のWindowsのスタートメニューの代わりです。

## ▼スタート画面



## ■ステップ実行

マクロを一度にすべて実行するのではなく、動作を確認しながら1行ごとに実行すること。複雑なマクロで、マクロの間違いを見付けるのに役立ちます。

## ■正規形

リレーショナルデータベース用語で、データベースの各テーブルにデータが整理して格納されていることを示す規則。

システムとしては正規形でなくても正しく動きますが、正規形でないデータベースはデータの削除や更新作業が複雑になります。

→リレーショナルデータベース

## ■制約

データベースに設定する、テーブルデータが満たしていないとてはならない条件。テーブルへのデータの追加や更新のとき、制約が逐一チェックされ、制約を満たしていない操作はエラーになります。

## ■セキュリティ警告

プログラムコードの実行など、セキュリティ上問題のある操作がなされる可能性があることを警告するメッセージのこと。

セキュリティ警告は、実際に何か問題が起こったことを示すわけではありませんが、これから実行しようとする操作が潜在的にセキュリティ上の問題を含む可能性があることを示唆しています。その操作が何をやる操作なのかを十分に把握し、身に覚えのないセキュリティ警告が出た場合にはその操作を実行しないようにします。

## ■セル

主に表計算ソフトで、表のそれぞれのマス目のことをいいます。1つのセルには1つの値を入れることができます。

## ■選択クエリ

データベースの内容を取り出すためのクエリ。列を指定したり、条件に合うレコードを検索したりといった処理をするため、こう呼ばれています。

→アクションクエリ

## ■ソート

→並べ替え

## ■タ行

## ■タスクバー

Windowsで、画面の下に表示される横長のバーのこと。主に現在起動中のアプリケーションが表示されますが、特定のアイコンを置くこともできます。

→クイック起動バー、スタートメニュー



## ■タブ

複数の画面を切り替えるための仕組み。上にそれぞれの画面に対応するタブが並んでいて、そのどれかをクリックすることで、下に表示させる画面を選ぶことができます。

## ■タブオーダー

Windowsでは、**[Tab]** キーあるいは **[Enter]** キーを押すことで入力対象となるコントロールを移動させることができますが、その移動順のこと。タブオーダーを適切に設定すると、キーボードを使って順にデータ入力をするのが可能になるので、入力効率が良くなります。

## ■タブ付きドキュメント

1つのアプリケーションで複数の画面を開く場合、タブを使って画面を切り替える方式。以前はアプリケーションの中に複数のウィンドウを持つ方式(MDI)が主流でしたが、最近ではタブ付きドキュメン

トが主流になっています。

## ■地域と言語のオプション

→ロケール

## ■チェックボックス

クリックするとチェックを入れたり外したりできる四角い箱状のコントロール。

→コントロール、トリプルステート

## ■抽出条件

選択クエリを使って、テーブルからレコードを取り出すとき、取り出すレコードの条件を記述したものをSQLではWHERE句を使うことから、Where条件ともいいます。

→選択クエリ、フィルタ

## ■追加クエリ

テーブルにデータを追加するためのクエリ。

→アクションクエリ

## ■定義クエリ

テーブルなどのデータ定義をするためのクエリ。SQLを活用する際には用いられますが、Accessで使われることはあまりありません。

→データ定義言語

## ■定型入力

郵便番号や電話番号など、桁数が決まったデータを入力する仕組み。あらかじめ桁数やハイフンの入る位置などを指定すると、キーボードからの入力時に自動的に指定した形式にしてくれます。

## ■データ型

数値や文字列といった、扱うデータの種類のこと。テーブルでは、同じフィールドには同じ種類のデータしか格納することができません。そのため、テーブルの定義時にフィールドに対してデータ型を設定します。

## ■データシートビュー

テーブルなどのデータを表形式で表示するビュー。フォームのように書式などの細かい設定をすることはできません。

## ■データ操作言語

SQLで使われる文の分類の1つ。データベース内のデータを取り出したり、操作したりする文のことをいいます。

→データ定義言語

## ■データソース

データの提供元となるデータベースなどのアプリケーション。Accessでは主に内部で定義されたデータベースを使いますが、外部のデータベースに接続して使う場合には、対象となるデータベースをデータソースとして指定する必要があります。

## ■データ定義言語

SQLで使われる文の分類の1つ。データベースの構造などを定義する文のことをいいます。

→データ操作言語

## ■データベース

データを格納、管理して、必要に応じて取り出すことのできるアプリケーション。データの管理方法にはいくつかの種類がありますが、リレーショナル型のデータベースが最近では主流になっています。

→リレーショナルデータベース

## ■データベースオブジェクト

Accessで、データベースアプリケーションを定義するための要素のこと。テーブル、クエリ、フォーム、レポートなどがあります。

→オブジェクト、ナビゲーションウィンドウ

## ■テーブル

リレーショナルデータベースで、データを格納する先となるもの。テーブルには、データが表形式で格納されます。

→レコード、フィールド

## ■テキストボックス

文字列を表示し、またキーボードからテキストを編集できるようにになっているコントロールのこと。

ID	<input type="text" value="1"/>
名前	<input type="text" value="山本太郎"/>

## ■デザインビュー

データベースオブジェクトを設計するとき用いる画面。

### →ビュー

## ■デフォルト値

### →既定値

## ■添付ファイル

データベースに、ファイルの内容をデータとして埋め込む機能。OLEに似ていますが、複数のファイルを格納することができ、格納するファイルの種類にも制限がないことから、気軽に使用することができます。

### →OLE

## ■テンプレート

日本語に訳すと「ひな型」。Accessでは、データベースやテーブルに対してテンプレートが用意されていて、目的とする種類のデータベースやテーブルをすばやく作成することができます。

## ■トグルボタン

押された状態を保持するボタン。通常のボタンとは違って、チェックボックスやラジオボタンと同じようなはたらきをします。

### →チェックボックス、ラジオボタン

## ■トリプルステート

はい、いいえの2値の他に、第3の状態を持つこと。主にチェックボックスに対していいます。チェックボックスでは、箱の中が灰色になっている状態で表れます。

## ■ドロップダウン

主にコンボボックスで、選択肢のリストを表示させること。あるいはそのリストを表示させるための逆三角形のボタン。

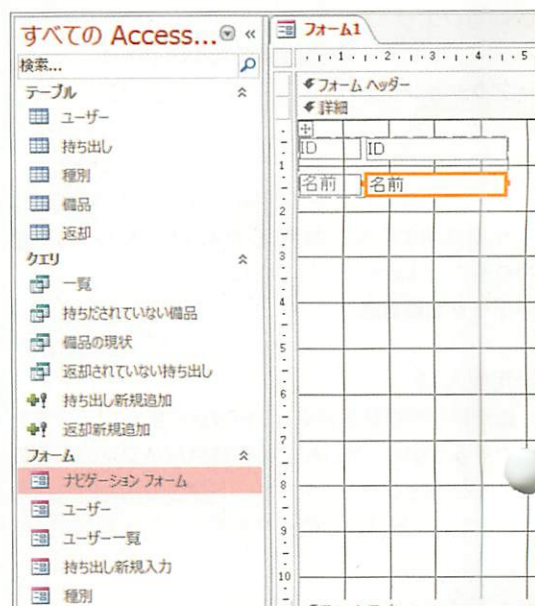
## ▼ドロップダウン



## な

## ■ナビゲーションウィンドウ

Access画面の左側に表示される、データベースプロジェクトの一覧を表示するためのウィンドウ。従来のバージョンのAccessでデータベースウィンドウと呼んでいたものにあたります。



## ■ナビゲーションフォーム

複数のフォームやレポートをタブで切り替えられるようにしたフォームです。

ナビゲーションフォームを用意すると、Accessの操作方法にあまり詳しくない人でも、容易にAccessのフォームやレポートなどを操作できます。



## ■名前

データベースオブジェクトやコントロール、フィールドなどを識別するために付ける文字列。名前は、それぞれ違うものを付ける必要があります。

Accessでは名前には原則としてどんな文字でも付けることができますが、空白や記号の入った名前や、SQLの命令と同じ名前は、Visual Basicなどでスクリプトを組む際の混乱のもととなるので、できるだけ避けます。

### →識別子

## ■並べ替え

あるフィールドの値が指定した順序になるように、コード全体の順序を入れ替えること。昇順または降順で並べ替えることができ、複数のフィールドを使って並べ替えることもできます。

## ■入力規則

入力された値が従っていないとてはならない規則。入力規則に違反した入力はエラーとなります。コントロールに入力規則を設定することで、ユーザーが間違った値を入力したときに即座にメッセージを表示することができます。

## ■ヌル値

値がないことを表す、特殊な値のこと。テーブルにレコードを挿入する際、既定値の設定がないフィールドはヌル値に設定されます。

ヌル値が含まれる可能性のあるフィールドを使って条件式や計算式を指定する場合、予期しない結果になることがあるので注意します。

## ■ネットワークドライブ

PCの中に物理的に接続されているハードディスクやUSBメモリなどのドライブに対して、ネットワークで接続されている別のPCやサーバーにあるドライブのこと。

ほとんどの操作はネットワークドライブでも問題なくできますが、セキュリティに関して一部、ネットワークドライブではできない操作があります。

## は行

### ■排他モード

ファイルなどを開くとき、一時的に占有して、他の人がアクセスできないようにするモード。ネットワーク上で複数のPCから同時にアクセスすることができるようになっている場合、複数の人が同時にデータベースを操作すると、データの不整合などが起きる可能性があります。このような問題を防ぐため、対象を一時的に占有し、他からのアクセスを遮断します。

### ■ハイパーリンク

URL (Unified Resource Locator) と呼ばれる文字列を使って、システム外部にある文書やファイルなどとリンクさせること。Webページへのリンクを示すのに主に用いられます。

### ■パススルークエリ

SQL言語で記述したクエリを、外部データベースに直接送って実行させる機能。対象データベースの独自機能を実行する場合に用いられます。

### →SQL

### ■ビュー

一般的にいうと、データを表示する方法のこと。Accessでは、テーブルやフォームといったデータベースオブジェクトを表示するのに、目的に応じて複数のビューが用意されています。

データベース用語としては、選択クエリを使って仮想的なテーブルを作成することをビューと呼ぶことも多いですが、Accessアプリケーション中ではこの言葉は使われていません。

### ■表示形式

データを文字列に変換するための形式。主に、数値を文字として表記するための、カンマの有無や小数点以下の桁数などをいいます。

同じような意味を持つ言葉に書式という言葉がありますが、こちらは色やフォントといったグラフィックに関する設定であるのに対して、表示形式という言葉は文字として表記する際の設定です。

### →書式

## ■標準偏差

数値データのばらつき具合を示す数値。分散の平方根です。

### →分散

## ■ビルダ

一般的には、「組み立てるもの」という意味。Accessでは、式やマクロ、コードなどを組み立てる際に、専用のビルダが使われます。

## ■非連結オブジェクトフレーム

フォームやレポートそのものに格納されたOLEオブジェクトを表示するためのフレーム。

### →OLE、連結オブジェクトフレーム

## ■フィールド

テーブルやクエリなどの表形式のデータにおける、縦方向の列のこと。リレーショナルデータベースにおいては、表の横方向の列(レコード)を一つのデータとして扱い、フィールドはそのデータが持つ複数の値のうちの1つとして扱います。

### →レコード

## ■フィールド見出し

フィールドの名前を表示する見出し。データシートビューでは、フィールド見出しの部分ドラッグすることで、表示の幅を変えたり、フィールドの順番を変えたりすることができます。

### →フィールド

## ■フィルター

データシートビューやフォームを使ってデータを表示する際に、指定した条件式に合致するレコードだけを表示すること。処理内容は抽出条件と似ていますが、抽出条件はデータベースから値を取得する時点で条件式を適用するのに対して、フィルターは表示のときに条件式を適用するところが異なります。

### →抽出条件

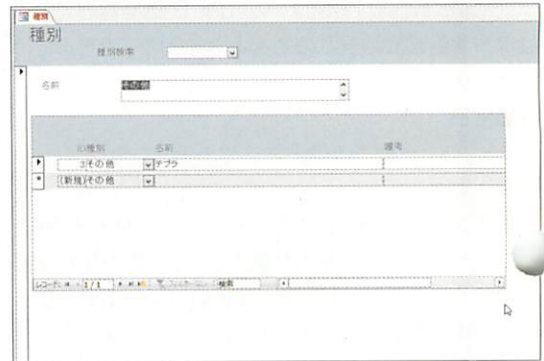
## ■フォーカス

フォームにおいて、現在入力が行われているコントロールのこと。キーボードからの入力は、現在フォーカスがあるコントロールに対して行われます。

## ■フォーム

データの表示や入力に用いられる、ユーザーが定義することのできるウィンドウ画面。コントロールを配置したり書式設定をしたりすることで、希望の表示にカスタマイズすることができます。

### →コントロール



## ■フォント

画面や印刷のときに用いられる、文字の種別のこと。

## ■複数値フィールド

通常のリレーショナルデータベースでは1つのフィールドには1つの値しか格納できませんが、複数の値を格納できるようにしたフィールド。

リスト中の複数の値をチェックボックスで選択できるようになっていて便利に使うことができますが、データベースの原則からは外れているため注意が必要です。

### →正規形

## ■フッター

フォームやレポートにおいて、データを表示する領域の下部に配置される領域のこと。合計やページ番号など、付帯的な情報が記載されます。

### →ヘッダー

## ■プレビュー

一般的には、正式な結果を得る前に、結果を簡単に確認すること。Accessでは特に、印刷結果を画面で確認する印刷プレビューの意味がよく用いられます。

### →印刷プレビュー

## ■プロダクトキー

製品のそれぞれに付けられた固有の番号。これを使って、どのPCにどの製品がインストールされたかを管理し、同じ製品が許諾範囲を超えて複数のPCに違法インストールされることを防いでいます。

## ■プロパティ

一般に、オブジェクトの動作や性質を決めるためのデータのこと。Accessでは、データベースオブジェクトやコントロールなどにプロパティを指定することで、細かい動作をカスタマイズすることができます。

### →オブジェクト

### ▼プロパティシート

プロパティを変更するための画面。多くのプロパティが存在する場合には、上部のタブで表示を切り替えることができます。

### →プロパティ

#### ▼プロパティシート

書式	データ	イベント	その他	すべて
小数点以下表示桁数			自動	
可視			はい	
日付選択カレンダーの表示			日付	
幅			9.63cm	
高さ			0.899cm	
上位置			0.603cm	
左位置			4.042cm	
背景スタイル			普通	
背景色			背景 1	
境界線スタイル			実線	
境界線幅			細線	
境界線色			背景 1, 弱め 35%	
表示			なし	
コントロールバー			あり	
フォント名			MS Pゴシック (詳細)	
フォントサイズ			11	
文字配置			標準	
フォント太さ			普通	
フォント下線			いいえ	
フォント斜体			いいえ	
前景色			テキスト 1, 明るめ 25%	
行間			0cm	
ハイパーリンクあり			いいえ	
ハイパーリンクとして表示			ハイパーリンクである場合	
ハイパーリンクのリンク先				
上枠線のスタイル			透明	
下枠線のスタイル			透明	
左枠線のスタイル			透明	
右枠線のスタイル			透明	
上枠線の幅			1 ポイント	
下枠線の幅			1 ポイント	
左枠線の幅			1 ポイント	
右枠線の幅			1 ポイント	
上余白			0cm	
下余白			0cm	
左余白			0cm	
右余白			0cm	
上スペース			0.053cm	
下スペース			0.053cm	

## ■分散

数値データのばらつきを示す値。それぞれのデータの平均値からの差の2乗和です。この値が大きいほど、それぞれのデータが平均値から大きく離れていることを示します。

### →標準偏差

## ■ヘッダー

フォームやレポートにおいて、データを表示する領域の上部に配置される領域のこと。通常、タイトルや列見出しなどが記載される。

### →フッター

## ■ヘルプシステム

ヘルプを閲覧する仕組み。Microsoft Officeでは、同じヘルプシステムを使っているため、アプリケーションが違って同じ操作方法でヘルプが閲覧できます。

## ■ボタン

クリックすることである処理を実行することができるコントロール。フォームに追加することであらかじめ用意された処理を1クリックで行えるようにできるほか、Visual Basic for Applicationを使ってさらに複雑な処理を実行させるようにすることもできます。

### →コントロール

## ■ボリュームライセンス

Microsoft社が企業向けに用意しているライセンス形態。ある程度まとまった数量を一括して購入することで、割引を受けることができます。

まとまった数量を購入する必要があるため、従来は大規模な企業や学校でしか利用できませんでしたが、最近ではボリュームライセンスを適用できる数量が下がってきており、中小企業でも利用できるようになっています。

## ま行

### ■マイクロソフトアカウント

Microsoft社が提供している様々なサービスで共通して利用される個人認証手段。ライセンス認証や、クラウドストレージのSkyDrive、サポートやマイクロソフトストアなどで共通に使われ、Windows 8ではユーザー認証手段としても使われます。従来は、Microsoft Live IDと呼ばれていました。

## ■マクロ

操作の順番をあらかじめ登録しておくことで、一連の操作を自動的に実行できるようにする仕組み。スクリプトに似ていますが、プログラミング言語の知識を必要としないため、簡単に作成できます。

### →スクリプト

## ■右クリックメニュー

マウスで操作対象をポイントして右クリックをすることで表示されるメニュー。マウスを大きく動かす必要がなく、また対象に関連したコマンドだけが表示されるため、コマンドを簡単に実行することができます。

### →コマンド

## ■メンテナンス

データベースのバックアップや最適化など、データベースを使う上で日常的に行われる管理や保守の業務を指します。

Accessのような小規模なデータベースではあまり意識する必要はありませんが、大規模なデータベースではどのようにメンテナンスを実行するのは大きな課題となります。

## ■文字列

文字の連なりとして表されるデータのこと。

### →データ型

## や行

## ■ユニーク

### →一意

## ■ユニオン

2つの表を、それぞれのレコードを含む1つの表にまとめること。2つの表はそれぞれ同じ数のフィールドを含んでいる必要があります。

## 5行

## ■ライセンス条項

法律的に、ソフトウェアがどんな条件で使用できるのかを書いたもの。ソフトウェアを購入してもソフトウェアの所有権が移るわけではなく、あくまでソフトウェアを使用する権利を得るだけで、その権利がどの範囲で有効なのかを規定するのがライセンス条項です。

インストール画面では必ず表示されるので、よく読んで内容を把握しましょう。

英語ではEnd User License Agreement(EULA)と書きます。

### →ライセンス認証

## ■ライセンス認証

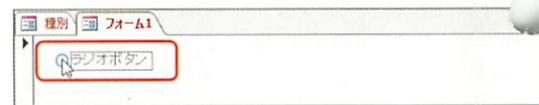
ライセンス条項に違反していないことを確認するため行われる認証手続き。プロダクトキーとPCの情報をMicrosoft社に送って、同じプロダクトキーが許諾された範囲を超えて複数のPCで使われていないことをチェックします。

ライセンス認証を行わないまま規定回数を超えてOfficeアプリケーションを使用すると、アプリケーションの機能が制限されます。

## ■ラジオボタン

選択されているかどうかを示す、丸いボタン型のコントロール。主に、オプショングループにおいて複数の選択項目を選択するために用います。

### →オプショングループ



## ■ラベル

文字列を表示するコントロール。フォームやレポートに見出しや説明文などを追加するために使用されます。

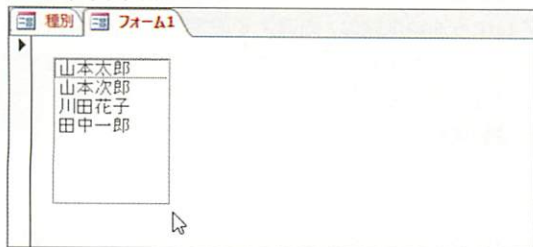
### →コントロール

## ■リストボックス

リストを表示し、そこから値を選択することのできるコントロール。主にフォームで用います。

### →コントロール

## ▼リストボックス



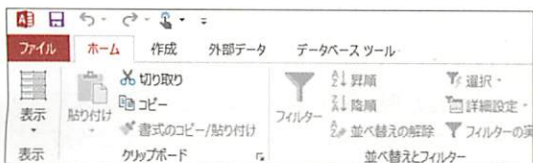
## ■リッチテキスト形式

文字の色や大きさなどの書式情報を含んだテキスト形式のこと。Accessでは、長いテキスト型のフィールドをリッチテキスト形式のデータにすることが可能です。

## ■リボン

Office 2007からメニューやツールバーの代わりとして導入された新しいユーザーインターフェース。

## →コマンドタブ、コマンドグループ



## ■リレーショナルデータベース

データをテーブルとその間の関連（リレーション）で表現するデータベースシステム。現在ではデータベースシステムの主流となっています。

## →データベース

## リレーション

## →リレーションシップ

## ■リレーションシップ

2つのテーブルで、レコード同士を関連付ける機能。テーブルAのあるフィールドの値と、テーブルBのあるフィールド（ほとんどの場合は主キー）の値が同じレコードを関連付けます。

## →結合、主キー

## ■リンクテーブル

外部のデータベースやアプリケーションのデータを、Accessのテーブルとして扱う機能。単に他アプリケーションのデータをAccessテーブルの中に入れて込むインポート操作とは違って、テーブルにアクセスしたときに、外部のアプリケーションデータに逐次アクセスが実行されます。

## ■ルーラー

直訳すると「定規」。デザインビューで上および左に表示される定規のこと。デザイン時に位置の目安として用いることができます。

## ■ルックアップ列

コンボボックスなどを使って、値を選択することができるフィールド。リレーションシップが設定されているフィールドでよく使われます。

リレーションシップが設定されているフィールドでルックアップ列を使うと、他テーブルのレコードをリスト表示して、その中から値を選択できるようになります。

## ■レイアウトビュー

フォームやレポートにおいて、実際のデータを表示させながらコントロールの配置などを変更できるビュー。Access 2007で追加された機能です。

デザインビューに比べて、より使用時に近い画面で配置を検討できるのが利点です。

## →デザインビュー

## ■レコード

表形式のデータにおいて、行にあたる部分。リレーショナルデータベースでは、レコードをデータの基本単位とし、レコード中の各フィールドに値を格納します。

## →テーブル、フィールド

## ■レコードセクター

データシートやフォームの左側にある、レコードを選択するための部分。カレントレコードが三角印で表示されます。

## →カレントレコード、移動ボタン

## ▼レコードセクター

ID種別	名前
1本	Access2013パーフェクトマスター
2本	Access VBAパーフェクトマスター
3その他	テブラ
4ノートPC	タブレット
(新規)	

## ■レコードソース

フォームやレポートで、表示すべきデータを提供するテーブルまたはクエリ。

## ■列

## →フィールド

## ■レポート

データベース上のデータを紙に印刷するためのフォーマットを定義するデータベースオブジェクト。コントロールを配置して、独自の形式でデータを印刷することができます。

## →データベースオブジェクト、コントロール

## ■連結オブジェクトフレーム

フォームやレポートにおいて、テーブルに格納されたOLEオブジェクトを表示させるためのコントロール。

## →OLE、非連結オブジェクトフレーム

## ■連鎖更新

リレーションシップが設定されたテーブルにおいて、主キーが変更されたとき、そのレコードを参照している関連テーブルの値を変更する機能。

連鎖更新が設定されていない場合、主キーが変更されると、テーブルの関連付けがうまく行かなくなってしまいます。こうしたトラブルを防ぐためには、連鎖更新の機能を使用します。

## ■連鎖削除

リレーションシップが設定されたテーブルにおいて、レコードが削除されたとき、そのレコードを参照している関連テーブルのレコードを削除する機能。この機能をオンにしない場合は、他のテーブルから参照されているレコードは削除することができなくなります。

連鎖更新とは違って、レコードが自動的に削除されてしまう連鎖削除は、間違えて設定してしまったときのトラブルが大きいので、機能をよく理解して、必要な場合にのみ設定します。

## →連鎖更新、リレーションシップ

## ■ロケール

日付や時刻、通貨記号など、国によって違った表記法を持つもの。あるいは、その中でどの表記法を使うのかを決定すること。Windowsでは、コントロールパネルで地域や言語を設定することによって、アプリケーション内でどういった表記あるいは解釈にすることを決定します。

例えば、日付の表記は、日本では年月日の順に並べますが、欧州では日月年、米国では月日年の順に並べます。日付を表記する場合にどの順番で並べるのか、あるいは02/03/04のように入力された日付をどの順で並べられたものとして解釈するのかを決めるのが、ロケールです。

## ■ロックファイル

ファイルが現在使用中であること、あるいはアプリケーションが実行中であることを示すために作成されるファイルのこと。アプリケーションの実行が終了したら自動的に削除されます。

アプリケーションが異常終了すると、ロックファイルが自動的に削除されずに残ったままになってしまいます。こうなると、アプリケーションを立ち上げた場合、他のアプリケーションが実行中であると認識されてしまって、実行できなくなってしまいます。こんな場合には、ロックファイルを、手で削除することによって、問題を解決できます。

## 英数字

## ■ActiveX

Microsoft社が開発した、インターネット関連技術の総称。本来は特定の技術や製品を指す名称ではありませんが、ActiveXコントロールとほぼ同義で使われることも多いです。

## ■ActiveXコントロール

独自のコントロールをシステムに登録して、テキストボックスやリストボックスなどと同様にアプリケー

ション上で利用することができる仕組み。Accessでは、フォームやレポートにActiveXコントロールを配置することで、Windowsにない様々な機能を実行することができます。

Webページに追加すると、Webページを見るだけで様々な機能を実行させることができます。こうした機能はとても便利な反面、セキュリティ上の問題もはらんでいます。

### ■ ADO (ActiveX Data Object)

アプリケーションが持つ様々なデータを、データベースのような表形式で扱うプログラミング言語上の仕組み。Visual Basicなどのプログラミング言語でデータベースを扱うための、統一した方法を提供します。→Visual Basic

### ■ CSV形式 (Comma Separated Value)

直訳すると「カンマで区切られた値」となります。テキストで表形式のデータを方法の一つで、1つの行をカンマ(,)で区切ってそれぞれの列を表します。本来はカンマで区切った形式のことしか指さないのですが、最近ではより広く、プログラムで自動処理できるような形式のテキスト全般について呼ぶこともあります。

→XML

### ■ EULA

→ライセンス条項

### ■ GUID (Global Unique Identifier)

グローバル一意識別子のことで、世界で一意な識別子として使うことができる値のことです。特に、Windowsで使われる128ビットの値を指します。

### ■ IME (Input Method Editor)

Windowsで、テキストの入力を補助するソフトウェアのこと。日本では主に、ローマ字入力やかな入力を漢字に変換するソフトを指します。

### ■ Microsoft Update

Microsoft社製品のアップデートを自動的に行うための仕組み。Microsoft Updateを使うと、インターネットを通じてアップデートの有無を自動的に調べて、必要なアップデートを自動的に実行することができます。

きます。また、こうした動作をWindows終了時や指定した時間にバックグラウンドで実行させることができます。

→アップデート、サービスパック

### ■ ODBC

Microsoft社が提唱する、データベースにアクセスするためのソフトウェアの標準仕様。アプリケーションがデータベースにアクセスする際の手順を統一することで、様々な種類のデータベースに接続することを可能にします。ODBCドライバと呼ばれるソフトウェアが、データベースの違いを吸収します。

ODBCを使うと、Accessから外部のデータベースに接続する際、対象となるデータベースの種類にかかわらず、同じようにアクセスすることができます。

### ■ Office ボタン

Office 2007の画面左上に表示される、丸い形のボタン。ここをクリックすると、ファイルの操作やデータベースの管理といった、Accessデータベース全体に対するメニュー項目が表示されます。

Office 2010以降、ファイルタブに統合されました。

### ■ Office Online

Microsoft社が提供する、Office製品のホームページ。ここを通じて、Officeに関する様々な情報が提供されます。

→サービスパック

### ■ Office 365

Microsoft社が提供するクラウド版のグループウェアサービス。メールやインスタントメッセージなどの通常のグループウェアサービスに加え、SharePointの機能とOfficeの各アプリケーションの使用が可能です。

→クラウド、SharePoint

### ■ OLE (Object Linking and Embedding)

Windowsで、アプリケーション間でデータを共有する仕組みのこと。OLEを使うと、あるアプリケーションの中に別のアプリケーションのデータを埋め込むことができます。例えば、Wordの中にExcelの表を埋め込んだり、Accessのフォームの中にWord文書を埋め込んだりすることができます。

→ActiveX

## ■ RDB

→ リレーショナルデータベース

## ■ RDBMS

→ リレーショナルデータベース

## ■ SharePoint

Web ブラウザーを使って文書管理やグループウェアなどのサービスを提供するプラットフォーム。Web サイトの開設、予定表やメンバー間のメッセージのやりとりなど、様々なサービスを実現できます。アプリケーションという形で、Accessで開発したデータベースアプリケーションをSharePoint上で動かすことができます。

→ Office 365、Web アプリケーション

## ■ SQL

データベースにアクセスするための、一種のプログラミング言語。データベースに対してSQL言語を使って命令を出すことで、データを操作したり、データを取り出ししたりすることができます。

→ データ定義言語、データ操作言語

## ■ URL

→ ハイパーリンク

## ■ VB (Visual Basic)

プログラミング言語の一種。BASIC言語が基になっていて、他のプログラミング言語に比べて初心者向きになっています。簡単にプログラムが作成できることから、人気の高い言語です。

## ■ VBA (Visual Basic for Automation)

Officeの各製品において、動作をカスタマイズするための仕組み。プログラミング言語としてVisual Basicを使っています。Visual Basic for Automationを使うと、Accessのフォームが開かれたときやボタンが押されたときなどに、特定の処理を自動的に行わせることができます。

## ■ Web アプリケーション

Accessで作成できる、ブラウザー経由で操作可能なデータベースアプリケーション。作成および実行にはSharePointが必要です。Accessの中では、単に

アプリケーションと呼ばれることもあります。

→ SharePoint

## ■ Where 条件

→ 抽出条件

## ■ Windows Update

→ Microsoft Update

## ■ Windows Vista

Windows XPの後継として開発された、Windowsのバージョン。Aeroと呼ばれる新しいユーザーインターフェイスや、開発中にはWinFXと呼ばれていた.NET Framework 3.0など、様々な機能が追加されています。

## ■ Windows 7

Windows Vistaの後継として開発された、Windowsのバージョンです。Windows Vistaを基に、パフォーマンスやユーザーインターフェイスの改良がなされています。

## ■ Windows 8

Windows 7の後継として開発されたWindowsの最新バージョンです。タブレットPCなどのタッチパネルを持つPCのために、ユーザーインターフェイスが一新されました。また、クラウドへの対応が強化されています。

→ クラウド、スタート画面

## ■ XML (eXtensible Markup Language)

文章やデータの構造を記述するための方式の1つ。XMLを使うと、様々なデータ構造をテキスト形式で表現し、受け渡すことができます。機械的に処理できるため、アプリケーション間のデータ交換にも使われます。



## ひらがな・カタカナ

## ●あ行

アウトライン	361
アカウント	581
アカウントの切り替え	582
アカウントの追加	582
アクション	420
アクションカタログ	420
アクションクエリ	234,281
アクションボタン	647
値要求プロパティ	183
新しい案件コマンド	688
新しい商談コマンド	683
新しいタスク	660
新しいプロジェクト	675
宛名ラベルウィザード	362
後の作業で使用する	522
アプリケーション	46
アプリケーションパーツ	472
アプリタブ	587,592
アプリの起動	591
アンカー	348
案件管理テンプレート	686
一時変数の設定	434
宛用フォーム	300
移動	123,124
移動ボタン	115,300,301,302,303,326
イベント	494
イベントプロシージャ	560
イメージコントロール	638
イメージの追加ボタン	601
イメージの変更ボタン	601
印刷	92,98
印刷プレビュー	93,354
インストール	52
インデックス	196,197,200,768
インデックスプロパティ	201

インポート	400,609
インポート操作	409
埋め込みオブジェクト	158
エクスポート	391
エクスポート操作	398
エディション	50
エラー時	432
エラー時アクション	433
エラーの生成	437
オートコレクト	459
オートコンプリート	600,637
オートナンバー型	200
オートナンバー機能	199
オブジェクトフレーム	570,571
オプション画面	454

## ●か行

解除	344
外部結合	215
概要ビュー	626
カウント	133,627
確認メッセージ	459
カスタムWebアプリ	585
画像	602,638
カテゴリ	80
カテゴリに移動	350
空のクエリ	236
空のデータベース	68
空のテーブル	110
空文字列	183
空文字列の許可プロパティ	183
カレントレコード	124,349
関連アイテムコントロール	644
関連性	204
キー列を表示しない	228,729
起動時イベント	646
基本画面	78

キャンセル	596
行の削除	176
クイックアクセスツールバー	78,83,86
クイック印刷	98
空白のフォーム	317
クエリ	40,232,233,236
クエリウィザード	235,237,250,253,256
クエリから読み込み	142
クエリデザインビュー	242
クエリとして保存	142
クエリの実行	240
クエリの追加	613
クエリのデザインを編集する	239
クエリの保存	239
クエリの連結	276
クエリパラメーター	279
クエリを実行して結果を表示する	239
クラウド	45
グラフ	567
グラフウィザード	567
クリック時	558
クリック時イベント	651
クリックして追加	119
グリッド	483
グループ	81,342,535,595
グループ化	271,372
グループ化ウィンドウ	372,378
グループの解除	344
グループの合併	345
グループの作成	345
グループの詳細情報	373
グループの追加	373
グループのフィルター	595
グループフッター	353
グループヘッダー	353
クロス集計クエリ	253
計算の見出し	627
結合の種類	216
検索	128
検索条件入力用フォーム	300
検索ダイアログ	128,130
検索ボックス	594
公開鍵	464
合計	133
更新クエリ	287
更新の許可	502
項目の削除	451
個人用アプリ	589
コマンド	444
コマンドグループ	84
コマンドタブ	84
コメント	428
固有インデックス	217
コンテンツの有効化	67
コントロール	299,346,353,483,631
コンパイル	827
コンボボックス	520,525,63
<b>●さ行</b>	
最近使用したファイル	71
最近使ったファイルのリスト	605
最小	133
サイズ/間隔	490
最大	133
作業の開始	75
削除クエリ	289
削除後処理	436
削除ボタン	598
サブデータシート	219,220
サブフォーム	300,555,561
サブフォームウィザード	561
サブマクロ	430
サブレポート	5E
参照整合性	217,230
サンドボックス	284
四角形	546
時刻	147
時刻の表示	334
自己署名証明書	829
資産管理テンプレート	694
システム要件	48
実行	245
実行効率	732
自動ふりがな機能	518
集計	132,376
集計列	134

集合形式.....	343,345	説明.....	174
住所入力支援機能.....	192	狭い.....	490
終了.....	105	セル.....	116
主キー.....	197	選択クエリ.....	233,260
主テーブル.....	217,474	選択したフィールド.....	238
使用可能.....	538	操作バー.....	593,594,651
条件付き書式.....	339	ソースデータにリンクする.....	411
条件文.....	427		
詳細.....	301,303,304	<b>● た行</b>	
詳細情報.....	594	代替文字列.....	189
詳細設定.....	458	対象オブジェクト.....	492
小数点以下の桁数.....	149	高い.....	490
小数点以下保持桁数.....	181	タスク管理.....	663
検索管理テンプレート.....	681	タスク管理テンプレート.....	659
試用版.....	49	タスクバー.....	62,63
ショートカットキー.....	89	タッチインターフェイス.....	44
初期画面.....	71	タッチジェスチャー.....	44
書式指定文字列.....	184	タッチモード.....	90
書式設定ウィンドウ.....	633,635	タブ.....	305,440,492
書式タブ.....	632	タブコントロール.....	550
書式の設定.....	339	単票形式.....	314
書式の変更.....	338	単票フォーム.....	300,301,302,309
書式プロパティ.....	184	地域と言語のオプション.....	147,483
新規タブの追加.....	644	チェックボックス.....	532
新規レコード.....	325	置換.....	130
信頼できる場所.....	461	中央揃え.....	146
数値型のフィールド.....	180	抽出条件.....	268,269
スキーマ.....	475	帳票形式.....	314
スタート画面.....	61	帳票フォーム.....	300,303,311
スタートにピン留め.....	106	重複クエリ.....	256
スタイルの変更.....	332	直線.....	543
ステータスバー.....	79	追加クエリ.....	282
ステップ.....	361	追加の許可.....	503
ステップ実行.....	424,432	追加ボタン.....	596
すべて更新.....	700	通貨型.....	151
すべて置換.....	131	ツールのタブ.....	444
すべてのピクチャを表示する.....	556	次を検索.....	131
すべてのリレーションシップ.....	208	定義クエリ.....	234
精度.....	181	定型入力.....	187,188
セキュリティ設定.....	461	定型入力文字列.....	190
セキュリティの警告.....	67	データウィンドウ.....	632,636
セクション.....	483,485	データ型.....	150,151,174
設定/アクションメニュー.....	619	データシート.....	115,302,314,318,594

- データシートビュー ..... 114,242,243  
 データ操作言語 ..... 233  
 データソース ..... 300,309,353  
 データ定義クエリ ..... 294  
 データ定義言語 ..... 233  
 データの保存 ..... 105  
 データのみ印刷 ..... 368  
 データベース ..... 39  
 データベースオブジェクト ..... 40  
 データベーステンプレート ..... 466  
 データベースの最適化/修復 ..... 738  
 データベースの修復 ..... 386  
 データベースを閉じる ..... 104  
 データマクロ ..... 435  
 データマクロのトレース ..... 655  
 テーブル ..... 39,40,108,109,261,614  
 テーブルツール ..... 444  
 テーブルデザイン ..... 708  
 テーブルデザインビュー ..... 170  
 テーブルの削除 ..... 262  
 テーブルの作成 ..... 285  
 テーブルの正規化 ..... 177  
 テーブルの追加 ..... 606  
 テーブルの表示 ..... 205,206  
 テーブルの表示ウィンドウ ..... 243  
 テーブルの保存 ..... 111  
 テーブルプロパティ ..... 175  
 テーブルまたはクエリを使用する ..... 367  
 テーブルリスト ..... 593  
 テキストボックス ..... 517  
 デザイン ..... 245  
 デザインタブ ..... 634  
 デザインビュー ..... 170,174,242,306,307,355,478  
 デザインモード ..... 486  
 デジタル署名 ..... 464  
 添付ファイル ..... 154  
 添付ファイル型 ..... 153  
 添付ファイルコントロール ..... 570,574  
 テンプレート ..... 65,66  
 ドキュメント ..... 305  
 ドキュメントウィンドウ ..... 79  
 ドキュメントタブ ..... 79,115  
 トグルボタン ..... 532  
 閉じる ..... 206  
 トレーステーブルを表示 ..... 654
- **な行**
- 内部結合 ..... 214,215  
 ナビゲーションウィンドウ ..... 79,369,615  
 ナビゲーションウィンドウのカスタマイズ ..... 448  
 ナビゲーションオプション ..... 448  
 ナビゲーションフォーム ..... 300,305,320,820  
 名前の変更 ..... 619  
 名前フィールド ..... 526  
 並べ替え ..... 126,379,507  
 並べ替えの解除 ..... 127  
 並べ替えフィールド ..... 62  
 入力規則 ..... 187  
 入力フォーム ..... 769  
 入力用フォーム ..... 300  
 認証局 ..... 464  
 ヌル値 ..... 182,252
- **は行**
- バーコードコントロール ..... 577  
 廃棄資産 ..... 698  
 配色を変える ..... 335  
 排他モード ..... 388  
 配置 ..... 490  
 ハイパーリンク ..... 542  
 ハイパーリンク型 ..... 162  
 ハイパーリンクコントロール ..... 640  
 ハイパーリンクの編集 ..... 163,164  
 ハイパーリンクの編集ボタン ..... 603  
 パススルークエリ ..... 293  
 パスワード ..... 389  
 バックアップ ..... 385  
 パッケージ ..... 50  
 パラメータ付きクエリ ..... 280  
 パンくずリスト ..... 593  
 引数 ..... 420  
 低い ..... 490  
 左結合 ..... 214,216  
 左揃え ..... 146  
 日付 ..... 147,599  
 日付の表示 ..... 334

秘密鍵.....	464	プレビュー.....	93
ビュー.....	623	ブロック.....	361
ビューセレクター.....	593	プロパティ.....	491
ビューの切り替え.....	246	プロパティシート.....	249,491,493
ビューの追加.....	610	プロパティの説明.....	174
表形式.....	314,343,345	プロパティリスト.....	243,492
表示.....	245,323	プロファイル.....	587
表示形式.....	339	分割フォーム.....	300,302,310
標準偏差.....	133	分散.....	133
ビルダー.....	434	平均.....	133
非連結オブジェクトコントロール.....	571	ページ枚数.....	94
広い.....	490	ヘッダー.....	299,301,302,303,353
ファイルタブ.....	75,78,84	ヘッダーを印刷する.....	97
ファイル名を指定して開く.....	73	ヘルプ.....	99,100
フィールド.....	109,264,519	ヘルプウィンドウ.....	100
フィールドの削除.....	265,331	編集ボタン.....	597
フィールドの追加.....	330	編集ロック.....	538
フィールドの表示.....	328	保存.....	596
フィールドの変更.....	266	保存して新規作成.....	661
フィールドプロパティ.....	174,184	ボタン.....	304,556
フィールドプロパティウィンドウ.....	174	ポップアップ表示.....	628
フィールド見出し.....	115		
フィールド名.....	174	<b>●ま行</b>	
フィールドリスト.....	176,243,266,328	マーケティングプロジェクトテンプレート.....	672
不一致クエリ.....	258	マイテンプレート.....	471
フィルター.....	507	マクロ.....	42,418,645
フィルター処理.....	135	マクログループ.....	429
フィルターを解除.....	136	マクロの実行.....	430
フォーム.....	41,298,299,300,308	マクロの実行アクション.....	649
フォームウィザード.....	312	マクロのデザインビュー.....	420
フォームのカスタマイズ.....	336	マスターテーブル.....	718
フォームのプロパティ.....	498	右結合.....	214,216
フォームの保存.....	325	右揃え.....	146
フォームビュー.....	306,322,325	短いテキスト型フィールド.....	179
フォームフィルター.....	135,141,142	無停電電源.....	385
フォームレイアウト.....	314	メインタブ.....	444
フォントグループ.....	634	モーダルダイアログボックス.....	300,304,319
複雑なフォーム.....	315	文字フォント.....	337
複数の値を許可する.....	229	モジュール.....	42
フッター.....	300,353		
ふりがな.....	191	<b>●や行</b>	
ふりがなウィザード.....	191	ユーザーインターフェイス.....	762,769
プリンターのプロパティ.....	365	ユニオンクエリ.....	276

読み取り専用 .....386

## ●ら行

ラジオボタン .....532  
ラベル .....540  
リスト .....595  
リストボックス .....527  
リセット .....447  
リボン .....78,83,84  
リボンのユーザー設定 .....439  
リレーショナルデータベース .....38,39  
リレーション .....39,331  
リレーションシップ .....203,204,263  
リレーションシップ画面 .....243  
リレーションシップダイアログ .....210,211  
リレーションシップの作成 .....209  
リレーションシップビュー .....203,205  
リンクテーブル .....414  
リンクテーブルマネージャー .....414  
ルーラー .....483  
ルックアップ .....620  
ルックアップウィザード .....224,225  
ルックアップページ .....229  
ルックアップ列 .....223  
レイアウトビュー .....306,327,336,355  
レコード .....109  
レコードセクタ .....115,124,299  
レコードソース .....624  
レコードリスト .....594  
列テンプレート .....165  
列の固定 .....145  
列の名前 .....120  
レポート .....41,352,353,662,700  
レポートウィザード .....358  
レポートセンター .....700  
レポートビュー .....354  
連結オブジェクトフレーム .....571  
連鎖更新 .....217  
連鎖削除 .....217  
連絡先アプリケーション .....670  
ロゴの設定 .....333  
ロックファイル .....74

## ●アルファベット・数字

Access .....38  
Access アプリ .....586  
Access でカスタマイズする .....605  
Access Runtime .....58  
ActiveX .....578  
ActiveX コントロール .....570,575,577  
CSV (形式) .....392,416  
DDL .....233  
DML .....233  
Else If .....427  
GUID .....200  
HTML ファイル .....394  
ID .....1  
IME 入力モード .....194  
IME 変換モード .....195  
IME モード .....518  
Microsoft アカウント .....52  
Null .....182  
ODBC .....416  
Office 365 .....51,54,581  
Office 365 サーバー .....583  
OLE オブジェクト .....158  
RAID .....385  
RDB .....38  
SharePoint .....592  
SharePoint サーバー .....581,583  
SQL (言語) .....234,245,248  
SQL ビュー .....242,244  
ToDo 管理 .....67  
VBA .....67  
Web ブラウザー .....642  
Windows アカウント .....45  
XML 形式 .....475  
XML ファイル .....395  
64bit 版 .....58